

入札参加者 各位

7営設第2422号
令和7年12月4日

福岡県建築都市部営繕設備課長

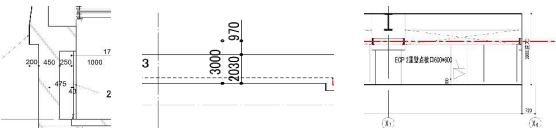
新福岡県立美術館新築工事設計図書に関する質疑回答書

NO	図面番号	質 疑	回 答
1	設計図書 S-001	免震上部のコンクリート強度において、下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・1Fスラブ及び免震支承架台基礎 Fc36 S-15 ・2Fより上部の各階スラブ及び1Fより上部の各階立上り Fc24 S-18	宜しいです。
2	設計図書 S-109	合成スラブデッキ端部仕様において、エンクロ、小口フサキ両方に採用の印があります。 エンクロを採用と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
3	設計図書 S-316	茶室・茶会館の追加基礎梁補強nFG1において、後施工アンカーの埋込長は8dと考えると宜しいでしょうか。 御指示下さい。	金属系アンカーとし、8dとしてください。
4	設計図書 S-316	茶室・茶会館の追加基礎梁補強nFG1において、施工時に撤去・復旧が必要であれば御指示下さい。	仕上げの撤去復旧が必要です。
5	設計図書 S-117	機械式定着の適用箇所が不明です。基礎大梁上端主筋(全段)の外周部、段差部に見込むと 考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
6	設計図書 A-306	茶室・茶会館の改修内容23において、土間やり替えとありますが、要領が不明です。 下記の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・土間コン Fc21 S-15 厚みt150 ・配筋要領 短辺長辺共にD10@200シングル躯体取合部 後施工アンカーD10 L=8d+20d@200)	宜しいです。
7	設計図書 A-111 S-209	アートインフォメーションベースの土間下地業について、意匠矩計図と構造図スラブリスト特記とで相違しております。 意匠図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
8	設計図書 A-013-1、016-6	サッシ面のルーバーの仕様が立面図ではアルミ製、建具表では鋼製と相違しています。立面図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
9	設計図書 A-013-1、016-6	前記の質疑に関連して、サッシ面ルーバーの取付要領が不明です。	雑詳細図 部分詳細図(6)外壁:アルミルーバー断面詳細図の通りとします。 但しルーバー形状は目隠しアルミルーバーと同様とします。
10	設計図書 A-008-2・017-6	B1F駐車場 壁仕上が、仕上表 GB-Rt12.5 +ケイカル板t9、展開図 W3 GB-Rt12.5+多機能ケイカル板 t9です。 AEP+GB-Rt12.5+多機能ケイカル板 t9と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	仕上表正とします。
11	設計図書 A-011-1	雨水槽 X6/Y1A-2 釜場のようなものがありますが、釜場と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
12	設計図書 A-011-1	消火水槽の凡例がありますが、平面図にありません。範囲を御指示下さい。	X1-X2A間の内Y2-Y3間が消火水槽です。

NO	図面番号	質 疑	回 答
13	設計図書 A-011-1	雑水槽等、釜場が無い水槽がありますが、平面図記載の釜場のみに考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	図面のとおりです。現場にて追加が必要な箇所については適宜、工事監理者と協議することとします。
14	設計図書 A-011-1	空ビットの仕上は下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・床 コンクリート金ごて 素地 ・壁 コンクリート打放しのまま ・天井 コンクリート打放しのまま	宜しいです。
15	設計図書 A-011-1	マンホール下部 タラップはW400 φ19 @300と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
16	設計図書 A-011-1	ビット基準断面図(梁上ふかし部)が下部凡例にありますが、平面図にありません。必要となる場所を御指示下さい。	該当なし。
17	設計図書 A-08-5・019-10・ 017-14	1F機械室 壁仕上 展開図 W2 断熱材50が、仕上表・平面詳細図ではGWマット50+GB-Rt12.5+LGSです。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
18	設計図書 A-017-14・019-10	1F機械室 展開図 B展開 階段がありますが、平面詳細図にありません。仕上および寸法を御指示下さい。	階段は不要です。
19	設計図書 A-019-10	機械室・防火シャット・ホッパ・庫 柱・梁型の耐火被覆はロックウール吹付と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
20	設計図書 A-018-1	B1F駐車場 1FL下部梁型はロックウール吹付 1時間耐火と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
21	設計図書 A-008-5・019-10	1F仕上表 消火シャフトがありますが、平面詳細図にありません。 平面詳細図 防火シャフトが該当すると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
22	設計図書	3F機械室① Y3通り側 間仕切がGB-Ft21+21ですが、防火区画ではありません。 GB-Rt12.5+12.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
23	設計図書 A-008-10・017-63	3F機械室① 巾木が、仕上表 なし、展開図 ビニル巾木です。 見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
24	設計図書 A-008-11・019-40・ S-027	4F機械室① 仕上表 嵩上げコン t140とありますが、平面詳細図・伏図 SL=FL-10です。 嵩上げコンとなる範囲を御指示下さい。	嵩上げ不要です。
25	設計図書 A-019-40	4F機械室 設備基礎は、コンクリート製、天端 コンクリート金ごて、立上り コンクリート打放補修 素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
26	設計図書 A-019-40	4F機械室② X4通り側 扉の脇に設備基礎のような図示がありますが、寸法の記載がありません。 建築工事にて見込むものがあれば御指示下さい。	w6500 * d600*h100とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
27	設計図書 A-003-2	EVEットの防水は、ケイ酸質系塗布防水 C-UIと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
28	設計図書 A-045-1	搬入用エレベーターの三方枠はエレベーター工事と考えて宜しいでしょうか。異なる場合、仕様を御指示下さい。	宜しいですが、エレベーター工事は建築工事(本工事)です。
29	設計図書 S-052	B1F擁壁部分の仕上は下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・天端 コンクリート金鍍 素地 ・立上り コンクリート打放補修 素地 ・排水溝 防水モルタル金鍍 素地	宜しいです。
30	設計図書 A-017-3・18-1・S-050	X6～7/Y1A等 B1F地下二重壁の高さが、展開図・擁壁軸組図・矩計図で相違しています。 各面・スパン毎の高さを御指示下さい。 ・展開図 B1FL+2200 ・擁壁軸組図 擁壁下部耐圧版下端 B1FL+1500 ・矩計図 B1FL+1500(擁壁下部耐圧版下端はB1FL+1650) 展開図 擁壁軸組図 矩計図 	矩計図を正とします。
31	設計図書 A-019-1	地下二重壁内部の仕上は下記の通りと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ・床 塗膜防水+モルタル金鍍 ・壁 コンクリート打放補修 素地 ・天井 コンクリート打放補修 素地	宜しいです。
32	設計図書 A-019-1～9	地下二重壁 点検口がありますが、平面詳細図に記載の無い部分に必要な場合、配置を御指示下さい。	B1階展開図参照ください。
33	設計図書 A-019-1～9	地下二重壁 内部側 排水経路が不明です。目皿 SUS φ50 地中梁貫通の上 下部 各水槽へ落とすと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
34	設計図書 A-019-1・3	B1F EPS 床レベルがSL-1000、FL±0とありますが、出入りする機械室のレベルに合わせてFL-1000と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	構造伏図を正とします。
35	設計図書 A-019-9	B1F EPS1 FL-1000部分に階段がありますが、仕上はコンクリート面 塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
36	設計図書	B1F EPS1 Y2C側 壁 AEPとありますが、EPSの為、素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
37	設計図書 A-018-8・019-40	4F機械室① X5-6間 外壁側ファシ壁が平面詳細図 LGS、矩計図 PC板です。 矩計図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
38	設計図書 A-019-29	3F EPS2 SL-300 FL±0ですが、嵩上げコンクリートt300を見込んでも宜しいでしょうか。御指示下さい。	嵩上げ不要とします。
39	設計図書 A-019-34	3F DS3 Y1B側 壁 AEPとありますが、DSの為、素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
40	設計図書 S-024 A-023-3・017-62・ 019-36	3F X11A～11B/Y4-4A EPS4の床レベルが、 ・伏図 3FL+1300 4FLレベル記載なし、 ・屋上テラス詳細図 FL-500 FL+2000にデッキあり(外部となる)、 ・展開図 CH6250 建具H3000、 ・平面詳細図 SL=FL-150 FL±0です。 3FLの階高及び天井面のレベル・下地を御指示下さい。	SL=FL-150で、EPS4はSL=FLとします。天井レベルはSL+1300直天とします。(屋上広場階段の踊り場下となる為。)
41	設計図書 A-011-1	蓄熱槽・汚水槽・雑水槽 タップについて、SUSタップと異なる仕様が必要となる場合、御指示下さい。	SUSタップに統一として宜しいです。
42	設計図書 A-008-7・019-25	仕上表で2F特別展示室①の床下地 鋼製床組が ^g 1.2t対応、特別展示室①(吹抜部)が ^g 1.0t対応となっていますが、X6通り中壁面で区分すると考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	宜しいです。
43	設計図書 A-008-7・041	仕上表で2F特別展示室①が床下地 鋼製床組が ^g 1.2t対応、特別展示室①(吹抜部)が ^g 1.0t対応となっていますが、特別詳細図鋼製床下地では特別展示室①が ^g 1.0t対応、特別展示室①(吹抜部)が ^g 1.2t対応と食い違っています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	特別詳細図を正とします。
44	設計図書 A-015-12・020-8	天井伏図で2F特別展示室①に階段下直天とありますが、階段踊場がH=3000で現れると思われます。階段下段裏はSOP塗装と考え、下り壁・高さ等納まりを御指示下さい。	塗装はUPとします。高さは階段図参照ください。
45	設計図書 A-015-15・018-1・ 017-44	天井伏図・矩計図・展開図で2F特別展示室①(吹抜部)に昇降ハトンがありますが、仕様・詳細・塗装の有無・仕様を御指示下さい。	L4000 電動ワイヤー巻取式 積載荷重160kg 0.75kw
46	設計図書 A-056-2	2F特別展示室①(吹抜部)等のキャットウォークの下地鉄骨・吊ボルト・手摺はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	宜しいです。手摺のみUUとします。
47	設計図書 A-008-7・015-15	仕上表で2F特別展示室①(吹抜部)に昇降ハトン・固定ハトンとありますが、天井伏図には昇降ハトンしかありません。天井伏図を正と考えて宜しいでしょうか。固定ハトンが必要な場合、仕様・大きさを御指示下さい。	宜しいです。

	図面番号	質 疑	回 答
48	設計図書 A-020-7	特別展示室①階段詳細図で点字鋸の記載がありますが、各床に300角*3ヶ所必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
49	設計図書 A-20-8	特別展示室①内部階段の踏面はモルタル+溶接金網 φ3.2*50*50+フローリングA、蹴込はSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	踏面・蹴込について、モルタルでは乾式下地とし同材としてください フローリングAt15 クッションシートt1 合板t12 調整代t2 総厚t30程度 ウレタン塗装としてください
50	設計図書 A-019-25	2F特別展示室②の壁端部一方枠はスチールPL-3.2 164*25 ウレタン焼付塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
51	設計図書 A-058-8・089-3	2Fコレクション展示室②・特別展示室②・③のスライディングウォールレール補強がスライディングウォール図では鉄骨+受ネコ+レールカバー、雑詳細図では短手方向はスライディングウォールレール+吊ボルト+化粧レールカバーと食い違っています。雑詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
52	設計図書 A-017-41・019-28	2F特別展示室③で外壁面建具SW201の上部壁仕上げは、断熱材現しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GB-R12.5*2枚張りの上AEP(とします)。
53	設計図書 A-015-11・017-41	天井伏図で3F特別展示室③のX13~13B・Y2C、X11A~X11B・Y1~1B通りにルーバー天井がありますが、展開図ではCH=5000で天井があります。展開図を正と考え、AEP+石膏ボードt=12.5+12.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図正とします。
54	設計図書 A-019-23	平面詳細図で2Fコレクション展示室①のX5通り壁仕上げにGW+GWとなっていますが、ガラスウールt=50+50となるのでしょうか。御指示下さい。	図面誤記、GWt50を正とします。
55	設計図書 A-008-7・019-28	仕上表で2F特別展示室③にALパネルカバーt3とありますが、施工場所・大きさを御指示下さい。	A-089-3雑詳細図_部分詳細図(3)参照ください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
56	設計図書 A-008-8・043-6	2・3F収蔵庫等で仕上表と特別詳細図 収蔵庫で仕上げが食い違っています。特別詳細図 収蔵庫を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
57	設計図書 A-008-8・043-6	2F前室/収蔵庫①、前室/一時保管庫、3F前室/収蔵庫②③の床仕上げが仕上表は長尺塩ビシートB t2.0、特別詳細図ではフナフローリングと食い違っています。特別詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
58	設計図書 A-011-4・011-5	平面図で2F収蔵庫①、3F収蔵庫③に鉄骨階段がありますが、鉄骨階段+手摺は建築工事、仕上げは収蔵庫工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	鉄骨階段+手摺を含み、一式収蔵庫工事(本工事)とします。
59	設計図書 A-017-50	展開図で2F収蔵庫①・3F収蔵庫③に階段+メザニン(中3F・中4F)がありますが、構造図にはスラブ及び下地鉄骨柱・梁がありません。メザニン(中3F・中4F)は収蔵庫工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、階段+メザニン(中3F)の仕様を御指示下さい。	収蔵庫工事(本工事)と考えてよろしいです。
60	設計図書 A-008-8・015-9	仕上表で2・3F収納庫等にピクチャーレール・ピクチャーハンガーとありますが、施工場所・仕様・大きさ・数量を御指示下さい。	ピクチャーハンガーは収蔵庫図を参照ください。 ピクチャーレールはTAKIYA 70kg [I type] Picture Rail シルバー同等とします。
61	設計図書 A-008-8・043-6	2・3F収蔵庫等の床荷重が仕上表は1t対応となっていますが、特別詳細図は500kg/m2と食い違っています。特別詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	1t対応を正とします。
62	設計図書 A-008-10・015-13・ 017-67・043-3	3F収蔵庫②・前室/収蔵庫②・収蔵庫③の天井高が仕上表・展開図はCH=3500、天井伏図はCH3000・3200・3250・3500、特別詳細図 収蔵庫ではCH=3580と食い違っています。特別詳細図 収蔵庫 CH=3580を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	天井伏図正とします。
63	設計図書 A-030-1～6	サイン図で参考図となっていますが、建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
64	設計図書 A-030-2	サイン A-03 出入口看板のW寸法を御指示下さい。	w1200*d180*h3600とします。
65	設計図書 A-030-5	サイン F-01 独立案内板の数量を御指示下さい。	40か所とします。
66	設計図書 A-019-11・016-9	1F監視室等のAW101のスチール額縁の見込が建具表では125、平面詳細図では780程度と相違しています。平面詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
67	設計図書 A-019-11	1F宿直室A等の外壁ECP面のグラスウールはt=50、24kg/m3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
68	設計図書 A-008-4	仕上表で1F輸送展示スタッフ控室に手動RSBOXがありますが、窓がありませんので該当無しと考えて宜しいでしょうか。有りの場合は設置場所を御指示下さい。	不要と考えてよろしいです。
69	設計図書 A-021-6	1F分別室の床、巾木についてアスファルト防水に直接塗床仕上のような図示ですが、モルタルの上塗床と考えて宜しいでしょうか。異なる場合は納まりを図示にて御指示下さい。	宜しいです。
70	設計図書 A-008-5	1F分別室のアスファルト防水の仕様はE-2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
71	設計図書 A-008-5・017-34	1Fカフェ・レストランの壁仕上がAEPと天然木練付板の2種類ありますが、展開図で使い分けが不明です。標準詳細図では天然木練付のですので全て天然木練付板と考えて宜しいでしょうか。AEPがある場合はそれぞれの範囲を明確に御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
72	設計図書 A-019-16・017-34	1Fカフェ・レストランのX13/Y6通の柱型について、平面詳細図では鉄骨柱表しのような図示ですが、展開図ではW1と相違しています。展開図を正と考えて宜しいでしょうか。鉄骨柱表しの場合は仕上と下地を御指示下さい。	宜しいです。
73	設計図書 A-017-34・018-6・089-1	1Fカフェ・レストランの天井間接照明(天井段差部)の詳細は部分詳細図(1)のA1Iに倣うと考えて宜しいでしょうか。また設置範囲は天井段差部全てと考えて宜しいでしょうか。異なる場合は設置範囲を図示にて御指示下さい。	A-018-6_矩計図(6)参照ください。
74	設計図書 A-019-17	1F受付・通路(レストラン)の床見切の材質、断面寸法を御指示下さい。	SUS t5とします。
75	設計図書 A-008-5・015-6	仕上表で1F受付・通路(レストラン)にRSボックスがありますが、天井伏図には図示がありません。窓側に見込むと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要とします。
76	設計図書 A-008-5・015-6	仕上表で1FドリンクエリアにRSボックスがありますが、天井伏図に図示がありません。窓はありませんのでRSボックスは無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。
77	設計図書 A-008-5・015-6・017-34・018-6・021-15	1Fドリンクエリアの天井が仕上表・展開図・標準詳細図ではPBt=12.5+12.5+AEP、天井伏図では別途・参考図、矩計図ではファブリック貼(別途工事)+PBt=12.5+12.5+AEPと相違しています。PBt=12.5+12.5+AEPを正と考えて宜しいでしょうか。天井伏図を正とする場合は参考図とはどの資料を示すのか、矩計図を正とする場合はファブリックとAEPの使い分け、納まりを御指示下さい。	矩計図正とします。ファブリック貼(別途工事)+PBt=12.5+12.5+AEPとします。 ファブリックは別途なので、一式PBt=12.5+12.5+AEPで計上ください。
78	設計図書 A-019-18	1Fロッカー(ミュージアムショップ)のミュージアムショップ側の防火区画がPBt=12.5+12.5となっていますが、強化PBt=12.5+12.5に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
79	設計図書 A-008-8・080-1	2F総務学芸執務室廻りの天井岩綿吸音板、化粧PBにAEPの記載がありますが、仕上表にはありません。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
80	設計図書 A-008-8・019-21・080-1	2F総務学芸執務室の一般間仕切のボードが仕上表・平面詳細図ではPBt=12.5+12.5、雑詳細図では強化PBt=12.5+12.5と相違しています。PBt=12.5+12.5を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	平面詳細図正とします。
81	設計図書 A-008-8・080-1・080-2	M2F総務学芸執務室メザンの床下地が仕上表ではパーティクルボードt=20+構造用合板t=20ですが、雑詳細図ではコンクリート金縷押えのような図示です。コンクリート金縷を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	雑詳細図正と考えてよろしいです。
82	設計図書 A-080-1	M2F総務学芸執務室メザンの階段の踏面はビニールシートB+モルタル+溶接金網φ3.2-50*50、蹴込・ササ桁・段裏はSOP塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	モルタル無しとします。
83	設計図書 A-008-8・080-1	M2F総務学芸執務室メザンの天井仕上が仕上表では直天、雑詳細図では岩綿吸音板と相違しています。雑詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。仕上表を正とする場合は天井の納まりを図示にて御指示下さい。	雑詳細図正と考えてよろしいです。
84	設計図書 A-008-8・015-12	2F館長室・応接室のピクチャーレールの範囲を御指示下さい。	天井伏図参照ください。
85	設計図書 A-008-8・017-48・019-21・080-1	2F館長室・応接室の一般壁ボードが仕上表・平面詳細図・展開図ではPBt=12.5、雑詳細図では強化PBt=12.5+12.5と相違しています。PBt=12.5を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
86	設計図書 A-008-8	2F応接室壁の天然木突板練付はUP塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
87	設計図書 A-008-8・019-21・017-48・080-1	2F倉庫B・C・更衣室・ロッカーの一般壁ボードが仕上表・平面詳細図・展開図ではPBt=12.5+12.5、雑詳細図では強化PBt=12.5+12.5と相違しています。PBt=12.5+12.5を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
88	設計図書 A-008-8	仕上表で2F倉庫C・更衣室・ロッカーに手動RSBOXがありますが、窓はありませんので不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
89	設計図書 A-019-21	2F倉庫Cの鉄骨柱型は耐火塗料表しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
90	設計図書 A-019-21	2F更衣室・ロッカーのロッカーは別途と考えて宜しいでしょうか。本工事でしたら詳細を御指示下さい。	宜しいです。
91	設計図書 A-019-21	平面詳細図で2F更衣室・ロッカーにフースの図示がありますが、別途と考えて宜しいでしょうか。本工事でしたら詳細を御指示下さい。	宜しいです。
92	設計図書 A-019-19	2F倉庫①に面する小部屋(FSD239が取り付く部屋)はPSと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
93	設計図書 A-019-13	1F EPS2の床がSL-30となっていますが、増打ちコンクリートにて調整と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	増し打ち不要とします。
94	設計図書 A-019-13	1F EPS2の壁仕上が平面詳細図ではAEP、展開図では素地と相違しています。AEPを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	素地とします。
95	設計図書 A-019-7	B1F倉庫A～CのLGS壁のボードはPBt=12.5+12.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
96	設計図書 A-019-8	B1F倉庫Cの 壁免震EXP.Jが詳細図参照とありますが、詳細図が見当たりません。改めて詳細図を御指示下さい。	仕様はA-037-4 特別詳細図_免震エキスパンションジョイント(4) ④ 外壁EXP.J(免震ウェイブタイプ)参照ください。 寸法はB1階展開図の通りとします。
97	設計図書 A-017-12・018-2・ 089-3	1FスタジオのSLW5のレール吊材の詳細は部分詳細図3に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
98	設計図書 A-021-2	嵩上コンクリート下の断熱材t=50は硬質ウレタンフォームと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	吹付とします。但し躯体との密着性を担保できるものであればフォームでも可。
99	設計図書 A-003-2・008-11・ 22-1・021-12	特記仕様書①タイル工事にセラミックタイル張り床(美術館トイレ)1200*600がありますが、適用するWCが不明です。WCに使うタイルは仕上表のFIANDRE プレミアムホワイト MARAZZI グランデストーンルック(t6 1500*750)同等と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。適用範囲は仕上り表参照とします。
100	設計図書 A-008-11・021-12	1F: MWC①・WWC①・UWC①②、床下地が矩計図(7)と標準詳細図WC-01で相違しています。 標準詳細図WC-01を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、床:大判タイルは接着剤張り(有機系接着剤)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
101	設計図書 A-022-1	1F:WWC①他、袖壁端部の枠:St-PLt3.2UUについて、見込:壁厚+20・見付:25と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	見込み:ツブシ枠 見付150とします。
102	設計図書 A-008-11・021-12	1F: MWC①・WWC①・UWC①②、巾木の仕様が仕上表(ST巾木H=50 t6 UU)と詳細図WC-01塗装-タイル(SUS入り巾木t1.5 2B)で相違しています。 仕上表(ST巾木H=50 t6 UU)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	詳細図WC-01 塗装-タイル(SUS入り巾木t1.5 2B)とします。
103	設計図書 A-004	衛生器具等の取付下地は構造合板t=12と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
104	設計図書 A-022-1	WCの小便器・大便器・SK部分にライニング壁のような書き入れがありますが、仕様が不明です。下記の仕様で見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■面台…メランボストフォーム t=25・幅は詳細図より判断 ■ライニング壁…壁仕上+GB-St12.5+構造合板t12+LGS65・高さは展開図より判断	面台：人工大理石t12とします。ライニング壁仕上は記載の内容で宜しいです。
105	設計図書 A-008-11・021-21	1F: MWC①・WWC①・UWC①②、廻り縁の仕様が仕上表(塩ビ目透かしW=10)と詳細図WC-01塗装-塗装(突付け)で相違しています。 仕上表(塩ビ目透かしW=10)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
106		1F:WWC①、パウダーコーナーのカウンター仕様を御指示下さい。	天板：人工大理石t12 側板：メラミン化粧板t20 下地：LGS65 W2013*D400*H1000 とします。
107	設計図書 A-003-2・022-6	1～3F:MWC(BOH)の小便器前に汚垂石を見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 この場合、汚垂石の仕様は特記仕様書・石工事の男子トイレ 山西黒 t25 本磨き 接着工法・奥行はD=600と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
108	設計図書 A-016-15・016-29・022-31	2F:MWC③の小便器横にトイレース(隔板)のような記載がありますが建具キープラン・建具表にありません。袖壁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、端部には枠St-PLt3.2UUを見込むと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	不要と考えて宜しいです。
109	設計図書 A-022-32	2F:WWC②(BOH)、展開図にパウダーカウンター・化粧鏡のような書き入れについて、化粧鏡はA展開図よりFX-37と同仕様のサイズ違いと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、パウダーカウンターについては仕様詳細を御指示下さい。	宜しいです。 パウダーカウンターの仕様はNo106にならうとします。
110	設計図書 A-008-11・080-1	2F:WC②、仕上表の天井高がCH2600ですが雑詳細図・総務学芸執務室(1)よりCH2300に読み替えると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
111	設計図書 A-021-5	厨房/レストランの床について、防水層は断熱材面に直接(保護モルタルは不要)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、防水層はFL+250部分まで立上げ、巾木・床材塗上げはモルタル下地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。 防水層はFL+250部分まで立上げ、巾木・床材塗上げはモルタル下地と考えて宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
112	設計図書 A-021-5	厨房/レストランの床について、巾木・床材塗上げの天端に見切縁のような書き入れがありますが、仕様詳細を御指示下さい。	SUS見切りt1.5 2Bとします。
113	設計図書 A-008-5・021-5・ 021-15	厨房/レストラン壁の仕様が標準詳細図(5)と(15)で相違しています。仕上表より標準詳細図(5)の仕様を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、天井仕上りが仕上表と標準詳細図(15)で相違しています。仕上表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	標準詳細図(5)を正とします。 宜しいです。
114	設計図書 A-008-5	厨房/レストラン仕上表の天井廻り縁がt2.5の指示ですが、塩ビに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
115	設計図書 A-019-17	厨房/レストラングレーチングW200Iはステンレス製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、排水溝は防水モルタル塗仕上(W150*H100)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
116	設計図書 A-019-17	厨房/レストラングリストラップの工事区分を御指示下さい。 ※建築工事の場合は仕様詳細を御指示下さい。	別途工事とします。
117	設計図書 A-008-5・019-17	厨房/レストラン仕上表に耐火遮音壁・吉野石膏S12・W同等の指示ですが、使用場所が不明です。使用する場合は、範囲と平面詳細図等の修正図を御指示下さい。	該当箇所無しとします。
118	設計図書 A-008-9・019-32	3Fカフェ厨房①②:平面詳細図の壁仕上りがUPとAEPの2種類指示があります。仕上表よりAEP仕上を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです

NO	図面番号	質 疑	回 答
119	設計図書 A-008-9・021-11	3Fカフェ厨房①②:塗膜防水は間仕切部分のRC立上りH150部分にも必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
120	設計図書 A-008-3・021-2	1F授乳室②:床下地が仕上表(嵩上げ)と標準詳細図(鋼製下地)で相違しています。標準詳細図(鋼製下地)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 仕上表を正とする場合は、標準詳細図の修正図を御指示下さい。	宜しいです。
121	設計図書 A-019-11	1Fランドリ:洗濯パンは設備工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 建築工事の場合は、仕様詳細を御指示下さい。	宜しいです。
122	設計図書 A-019-11	1Fランドリ:シャワースペース横にパーテーションのような書き入れがありますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 建築工事の場合は、仕様詳細を御指示下さい。	宜しいです。
123	設計図書 A-020-12	直通階段③階段詳細図:15段目の点字鋳が重なっています。4ヶ所と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
124	設計図書 A-008-11・020-12	直通階段③:天井下地が仕上表(PB12.5+12.5)と階段詳細図(PB9.5+9.5)で相違しています。仕上表(PB12.5+12.5)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
125	設計図書 A-008-11・020-17・ 020-18・020-19	避難階段①②③の仕上は、直通階段①の仕上表に倣うと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、階段室の床:長尺塩ビシート2.0は最下階床に使用・最下階以外の床・踏面・踊場は防滑シート貼と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。 宜しいです
126	設計図書 A-020-10～22	直通階段①②・避難階段①②③・特別避難階段の階段・手摺は直通階段③に倣い溶融垂鉛メッキリン酸処理仕上と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
127	設計図書 A-020-19	避難階段③:階段の2F(30段目)がY2A通り側にありますが、2Fの出入口はY1B通り側にあるため出入りが出来ないように思われます。修正図を御指示下さい。	階段詳細図の通りとします。 階段の2FはY1B通り側です。
128	設計図書 A-020-10～22	避難階段①②③・特別避難階段・直通階段②:手摺は内側のみ必要、壁側には不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 壁側に手摺が必要な場合は、手摺の範囲を明確に御指示下さい。	図面の通り、階段がある部分についてはすべて両側手すりとします。
129	設計図書 A-008-11	階段室の長尺塩ビシートは、長尺塩ビシートBと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
130	設計図書 A-020-9	直通階段①階段詳細図:床・間仕切・手摺など平面と断面で位置の相違があり、範囲・仕上が不明瞭です。明確に御指示下さい。	平面図では記載を省略している部分もあるため、断面図を正としてください。
131	設計図書 A-008-9・008-10・ 021-10/3-08	3F研究室・会議室A・B・事務室において、床下地がOAと鋼製下地の2種類になっておりますが、標準詳細図(10)/3-08より壁際より四周W300の範囲を鋼製下地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
132	設計図書 A-019-29・31・32	下記部屋の柱型が「GB-Ft12.5+12.5 両面貼」になっておりますが、片面貼に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○3F作業室 ○3F会議室B ○3F休憩室 ○3Fライブラリーカフェ ○3F事務室 ○3F美術資料室2	両面張りとします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
133	設計図書 A-017-72・017-74・ 019-29・019-32	3F作業室・事務室において、鉄骨プレスの仕上が下記の様になっております。ロックール吹付t30を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○3階展開図(11)、(13)・・・マキエ ○3階平面詳細図(1)、(4)・・・ロックール吹付t30	宜しいです。
134	設計図書 A-019-29	3F PS・空調用(搬入用EV横)において、3階平面詳細図(1)のX4通り側に「GB-Ft12.5+12.5 LGS」と記載されておりますが、図示はECPIになっております。LGSを正とし防火区画のためGB-Ft21+21(片面貼)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ECPを正とします。
135	設計図書 A-015-13	3F PS・空調用(搬入用EV横)において、天井伏図(13)に「29」と記載されておりますが、「19」に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
136	設計図書 A-008-9・018-7	3Fコレクション展示監視員控室の床仕上が下記の様になっております。内部仕上表(8)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○内部仕上表(8)・・・長尺塩ビシートB ○矩計図(7)・・・タイルカーペットB	宜しいです。
137	設計図書 A-017-70・019-30	3Fコレクション展示監視員控室において、EV2廻りの壁仕上が下記の様になっております。3階平面詳細図(2)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○3階展開図(9)/C面・・・W1(GB-Rt12.5+ビニルクロス貼) ○3階平面詳細図(2)・・・ECPt60 素地	宜しいです。
138	設計図書 A-019-30	3Fコレクション展示監視員控室において、3階平面詳細図(2)のX4通り壁にGB-Rt12.5と記載されておりますが、防火区画のためGB-Ft12.5+12.5(両面貼)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
139	設計図書 A-019-30・019-32	3Fコレクション展示監視員控室・美術資料室2において、見掛りの鉄骨柱がありますが、仕上は耐火塗料表しのままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
140	設計図書 A-008-10・021-14/ 共通-05	3F学芸倉庫の壁仕上が下記の様になっております。内部仕上表(9)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○内部仕上表(9)・・・AEP ○標準詳細図(14)/共通-05・・・ビニルクロス貼	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
141	設計図書 A-017-66・019-31	3F学芸倉庫において、Y3通り側の壁下地が下記の様になっております。防火区画のため3階平面詳細図(3)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○3階展開図(5)/A面・・・W1(GB-Rt12.5+12.5) ○3階平面詳細図(3)・・・GB-Ft12.5+12.5	宜しいです。
142	設計図書 A-063-1	3F学芸倉庫において、特別詳細図 集密書架(1)に記載されている輪転機は別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、仕様・詳細を御指示下さい。	宜しいです。
143	設計図書 A-017-65	3F会議室Bにおいて、3階展開図(4)/C面にW2と記載されておりますが、外壁面のためW1に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
144	設計図書 A-015-15・A-017-65	3F会議室Bにおいて、天井伏図(15)及び3階展開図(4)のX1通りにブラインドBOXが記載されておりますが、窓が無い ため不要と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
145	設計図書 A-017-64・019-31	3F会議室Aにおいて、X2A通り側の壁下地が下記の様になっております。3階展開図(3)/A面と同じGB-Ft12.5+12.5を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○3階展開図(3)/D面・・・W1(GB-Rt12.5+12.5) ○3階平面詳細図(3)・・・GB-Ft12.5+12.5	3階展開図(3)/D面・・・W1(GB-Rt12.5+12.5)を正とします。
146	設計図書 A-089-2	3F会議室Aにおいて、部分詳細図(2)のスクリーンボックス取付下地金物にSOPが記載されておりますが、見隠れになりますので不要と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
147	設計図書 A-019-32	3F休憩室～ライブラリーカフェ間の間仕切がGB-Rt12.5+12.5(片面)+GB-Rt12.5(片面)になっておりますが、防火区画のためGB-Ft12.5+12.5(両面)に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
148	設計図書 A-008-9	3Fライブラリーカフェ・美術資料室1において、天井鋼製下地の仕様・詳細を御指示下さい。	アルポリックの一般的な納まりとします。 
149	設計図書 A-019-32	3Fライブラリーカフェにおいて、3階平面詳細図(4)に記載されている「カフェ造作④・カウンター②」のカフェ詳細図が見当たりません。改めて仕様・詳細を御指示下さい。	不要とします。
150	設計図書 A-018-4	3Fライブラリーカフェ・美術資料室1において、天井裏のGWマットガラスクロス貼t25が矩計図(4)ではY5～Y7間のみになっておりますが、全面に読み替えて宜しいでしょうか。否の場合、具体的な施工範囲を平面詳細図にて御指示下さい。	宜しいです。
151	設計図書 A-019-32	3F事務室において、3階平面詳細図(4)に「棚板可動タイプ」と記載されておりますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、仕様・詳細を御指示下さい。	不要とします。
152	設計図書 A-008-9・019-32	3F美術資料室2の床仕上が下記の様になっております。内部仕上表(8)を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○内部仕上表(8)・・・長尺塩ビシートB ○3階平面詳細図(4)・・・長尺塩ビシートA	宜しいです。

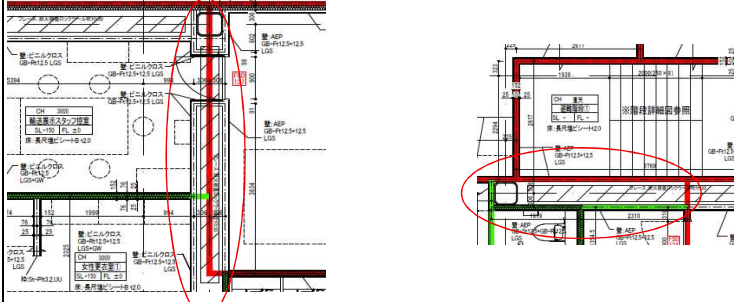
NO	図面番号	質 疑	回 答
153	設計図書 A-008-9	3F美術資料室2の床下地がOAと鋼製下地の2種類になっておりますが、床仕上が長尺塩ビシートのため、全面鋼製下地に読み替えて宜しいでしょうか。否の場合、OA面の施工要領を御指示下さい。	宜しいです。
154	設計図書 A-008-9・017-73	3F美術資料室2において、鋼製下地の構成が下記の様になっております。内部仕上表(8)を正と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。 ○内部仕上表(8)・・・構造用合板t15+15 ○3階展開図(12)・・・パーテクルボードt20+構造用合板t12	宜しいです。
155	設計図書 A-018-2・021-10・021-11	矩計図(2)の下記範囲にRC立上りが記載されておりますが、標準詳細図(10)・(11)には見当たりません。RC立上りは不要と考えて宜しいでしょうか。必要の場合、RC立上りの範囲を平面詳細図にて御指示下さい。 ○3F美術資料室2～書庫 ○3F美術資料室2～事務室	宜しいです。
156	設計図書 A-019-32	3F美術資料室2において、3階平面詳細図(4)に実線で固定書架・集密書架の様な表示がありますが、別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、仕様・詳細を御指示下さい。	美術資料室2の家具工事は備品(別途)とします。
157	設計図書 A-019-32	3F美術資料室2において、3階平面詳細図(4)に記載されている「振れ止めチャンネル」は別途工事と考えて宜しいでしょうか。建築工事の場合、仕様・詳細を御指示下さい。	計上不要とします。
158	設計図書 A-021-10/3-07	3F美術資料室1において、標準詳細図(10)/3-07の床に「断熱材t50」の文言がありますが、図示は見当たりません。断熱材は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	必要とします。
159	設計図書 A-017-74・017-75・019-32	3F美術資料室1において、3階展開図(13)/D面及び3階展開図(14)/E面にW2(天然木突板練付 UP)が記載されておりますが、3階平面詳細図(4)ではAEPになっております。天然木突板練付 UPを正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
160	設計図書 A-019-33・039	3F美術資料室1～メディアウオイト間にあるFSS-301の下地補強は、特別詳細図 外部・内部シャッターに倣い、縦材口-100*50*6.0(両側)+横材口-100*100*4.5 2段と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
161	設計図書 A-019-33	3F書庫～メディアウオイト間にある防火区画はGB-Ft12.5+12.5 両面貼 LGS+GWと考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
162	設計図書 A-008-9・017-73	3F書庫において、鋼製下地の構成が下記の様になっております。内部仕上表(8)を正と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○内部仕上表(8)・・・構造用合板t15+15 ○3階展開図(12)・・・パーテュルボードt20+構造用合板t12	宜しいです。
163	設計図書 A-008-9・015-13	3F書庫において、内部仕上表(8)には記載がありませんが、天井伏図(13)よりFSW301に「フラインド」BOX(手動)を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
164	設計図書 A-019-11・12・15・17	1F各DS・EPSにおいて、床レベルが下記の様になっておりますが、床下地は断熱材t50+嵩上げ材(ポリスチレンフォーム)+嵩上げコンクリートt100とし、嵩上げ材で高さを調整すると考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○1F DS1(SL-1000/FL±0)・・・嵩上げ材t850 ○1F EPS1(SL-1000/FL-500)・・・嵩上げ材t350 ○1F EPS3(SL-400/FL±0)・・・嵩上げ材t250 ○1F EPS4、DS5(SL-600/FL±0)・・・嵩上げ材 t450	宜しいです。
165	設計図書 A-019-10・019-13・019-17	1F各PS・DSにおいて、床レベルが下記の様になっておりますが、床下地は断熱材+嵩上げコンクリートt100とし、断熱材の厚みで高さを調整すると考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○1F PS1(SL-150/FL±0)・・・断熱材t50 ○1F DS2(SL-150/FL±0)・・・断熱材t50 ○1F DS4(SL-600/FL-400)・・・断熱材t100	宜しいです。
166	設計図書 A-019-10・019-11・019-20・019-29	下記部屋において、平面詳細図に壁AEPの記載がありますが、他のPS・DSと同じ素地に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○1F PS1 ○1F DS1 ○2F DS1 ○3F PS・空調用	宜しいです。
167	設計図書 A-019-17	1F DS5において、1階平面詳細図(8)に1200*700の基礎の様な表しがありますが、出入口が無いため不要と考えると宜しいでしょうか。必要な場合、仕様・詳細を御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
168	設計図書 A-008-8・019-27	2Fアラム弁室①において、内部仕上表(7)に嵩上CO150mmの記載がありますが、2階平面詳細図(9)ではSL-450になっております。嵩上CO450mmに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいですが、嵩上げ材(ポリスチレンフォーム)とします。
169	設計図書 A-008-6他	内部仕上表 下地のLGSに1000PA対応とあります。LGSの耐荷重性能のことでしょうか。仕様を御指示下さい。	ご認識の通りです。仕様は適宜選定ください。
170	設計図書 A-008-6他	上記質疑に関連して、仕上表にLGS下地1000PAの記載がある場合、該当する部屋のLGS下地のどこまでを上記仕様で見込むのか不明です。 必要となるLGS下地の範囲を図示にてご提示願います。	全面とします。
171	設計図書 A-008-1・018-1～ 9・019-10～019-41 他	耐火被覆に於いて、矩計図・平面詳細図に図示がありますが、部分的な記載の為、いずれの耐火被覆仕様を、どの範囲に使用するか不明です。 耐火被覆の仕様毎の範囲図等の資料をご提示願います。	別紙(S-23～S-30)を参照ください。
172	設計図書 A-065	1Fメディアウォイト・ホワイ 梁カバーの、オーク不燃突板シート面にUC塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
173	設計図書 A-041	特別詳細図 鋼製床下地の根太鋼に於いて、仕様欄と断面図で形状が相違します。断面図の30*45*18*t1.2を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
174	設計図書 A-018-8・018-9・ 050	2Fメディアウォイト・メディアスリット・展示ロビーの天井木パネルに於いて、吊材の詳細が不明です。御指示下さい。	A-050_特別詳細図_内部天井木パネルを参照ください。
175	設計図書 A-018-8・018-9・ 050	2Fメディアウォイト・メディアスリット・展示ロビーの天井木パネルに於いて、吊材の受け下地の詳細・形状寸法・ピッチが不明です。御指示下さい。	同上。

NO	図面番号	質 疑	回 答
176	設計図書 A-018-8・018-9・050	2Fメディアウォイト・メディアスリット・展示ロビーの天井木パネルに於いて、オーク不燃突板シート面にUC塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
177	設計図書 A-050・089-1	2Fメディアウォイト・メディアスリット・展示ロビーの天井木パネルに於いて、オーク不燃突板シート仕上～吊下地間のH寸法が特別詳細図_内部天井木パネルと雑詳細図_部分詳細図(1)/間接照明ボックス(メディアスリット)で相違します。特別詳細図_内部天井木パネルのH=300が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
178	設計図書 A-089-5	2・3Fメディアウォイト天井トッフライト部分の遮光ルーバーの形状・寸法・取付下地の詳細が不明です。御指示下さい。	雑詳細図_部分詳細図(5)を参照ください。
179	設計図書 A-053-1・053-2・053-3・089-5	2・3Fメディアウォイト天井トッフライト部分のロールスクリーンに於いて、特別詳細図_トッフライトロールスクリーン(2)では、長手方向の途中にボックスを設置するようになっていますが、雑詳細図_部分詳細図(5)の記載より、途中にはサポートパイプを設置しています。中間位置にボックスは不要と考えて宜しいでしょうか。中間にボックスが必要となる場合は設置位置を御指示下さい。	宜しいです。
180	設計図書 A-018-8・018-9・053-1・053-2・053-3・089-5	2・3Fメディアウォイト天井トッフライト部分のロールスクリーンに於いて、ロールスクリーンの製品W巾は矩計図8)・(9)の割付によると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
181	設計図書 A-008-6・015-11	2Fメディアウォイトの仕上表より、電動RS-Bを設置とありますが、天井伏図にボックスの凡例の記載がありません。X13A通りに電動ロールスクリーンボックスが必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
182	設計図書 A-018-9	2・3Fメディアウォイトの天井仕上に於いて、天井トッフライト端部にスチールプレートカバーとありますが、取付下地の仕様が不明です。御指示下さい。	仕様は適宜選定ください。
183	設計図書 A-008-6・017-32・017-33	2Fメディアウォイトの巾木仕上に於いて、展開図C面に凡例B2とありますが、仕上表よりB1(スチール製入巾木)が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
184	設計図書 A-008-6・017-32・ 017-33	2・3Fメディアウオイトの壁仕上に於いて、展開図A面に凡例W2とありますが、仕上表よりW3(ボート)GB-Rt=12.5増張+AEP塗装)が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
185	設計図書 A-019-24他・052- 1・052-2	メディアウオイトのガラス手摺に於いて、設置長さが、平面詳細図と特別詳細図で相違します。平面詳細図の設置範囲が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
186	設計図書 A-008-9・017-33・ 017-62・018-9・ 021-20	3F風除室の天井に於いて、仕上表・標準詳細図(20)/3-05より、H=3000の天井高で、アルミルーバーを設置するようになっていますが、展開図・矩計図の記載より、3Fメディアウオイト天井は直天で、トップライト下にアルミルーバーを設置するようになっています。3F風除室はH=4000の位置に屋根を設置し、H=3500の位置に天井 LGS+GB-Rt=12.5+12.5+AEPがあるものとし、屋根の上部の3Fメディアウオイト直天範囲にアルミルーバーを設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
187	設計図書 A-008-9・017-33・ 017-62・018-9・ 021-20	上記質疑に関連して、3F風除室に屋根を設置する場合、屋根の下地仕様が不明です。御指示下さい。 また、メディアウオイトから見た、屋根天端の仕上・屋根立下りの仕上が不明です。天端 GB-Rt=12.5+AEP塗装、立下り GB-Rt=12.5+12.5+AEP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	A-012 屋根伏図の通り、トップライトが延長する形状となります。
188	設計図書 A-019-36	3Fメディアウオイト・風除室廻りの壁仕上に於いて、平面詳細図(Y3B通りのX11B・X12)にLGS+GW+GB-Rt=12.5+12.5+AEPとありますが、外壁面・建具と取り合う位置です。どのようなおさまりとなるのか、詳細を御指示下さい。	建具枠をY3B外壁にずらすこととします。X11B壁はALPLt3 FUとします。
189	設計図書 A-018-3	矩計図(3)より、2・3Fメディアウオイト X8・Y4通りの柱型仕上は南北面 ダイライト6オーク突板練付UC・東西面 アルミ複合板ミラー仕上げt=3と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
190	設計図書 A-015-13・018-8	3Fメディアウオイト天井仕上に於いて、天井伏図と矩計図(8)で記載が相違します。天井伏図のGB-Rt=12.5+12.5+AEP塗装を正し、天井高はH=3500と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	矩計図を正とします。
191	設計図書 A-008-6・008-9・ 015-11・015-16・ 054-2	2・3Fメディアウオイト電動ロールスクリーンボックスの仕様が不明です。スチールt=1.6加工 SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	St PL-2.3曲加工 焼付塗装 とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
192	設計図書 A-054-2	2・3Fメディアウオイト・ホワイエの電動ロールスクリーンの仕様が不明です。御指示下さい。	St PL-2.3曲加工 焼付塗装 とします。
193	設計図書 A-015-16	3Fメディアウオイトの電動ロールスクリーンボックスに於いて、天井伏図ではX13A通りに凡例の記載がありますが、X12通りに設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
194	設計図書 A-019-10・019-11・ 019-15	<p>前回質疑で、1FX9通り・Y1A～2A間の間仕切に於いて、ブレースを挟んだ防火区画の片面耐火間仕切のボードの仕様がGB-Ft=12.5+12.5となっており、片面耐火間仕切 GB-Ft=21.0+21.0に読み替えて良いかと質疑しました。他の場所でも、ブレースを挟んだ防火区画のボード仕様がGB-Ft=12.5+12.5となる箇所があります。同様に片面耐火間仕切 GB-Ft=21.0+21.0に読み返ると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。</p> 	宜しいです。
195	設計図書 A-020-4～6	2・3Fメディアウオイト階段の踏面・踊場はモルタル+溶接金網φ3.2*50*50+フローリングA 溝2本加工付、蹴込・段裏・ササはSOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	<p>踏面・蹴込について、モルタルでは乾式下地とし同材としてください</p> <p>フローリングAt15 クッションシートt1 合板t12 調整代t2 総厚t30程度 ウレタン塗装としてください</p>
196	設計図書 A-020-5	2・3Fメディアウオイト階段の踊場・3FL床面の点字鋲の設置箇所数が不明です。それぞれ5ヶ所ずつ設置と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
197	設計図書 A-018-4・019-23・ 019-24	2Fメディアウオイト～メディアスリットA～展示ロビーA間 間仕切壁のボード仕様に於いて、矩計図(4)より、両面GB-Ft21.0+21.0となっていますが、両面GB-Ft12.5+12.5の耐火間仕切と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
198	設計図書 A-017-57他・019-23他	2FメディアスリットA・B・C・Dの展示室ドア前の凸部スペースの壁・天井仕上に於いて、上部に天井木パネルがあり、どのようなおさまり詳細となるのか不明です。詳細を御指示下さい。	建具枠の納まりとします。見込みは平面詳細図の通りとします。
199	設計図書 A-017-42・017-59・019-35・019-37	2FメディアスリットB・Dに於いて、3FL吹抜となる範囲がありますが、どのようなおさまり詳細となるか不明です。詳細を御指示下さい。	天井懐となります。
200	設計図書 A-019-35	2FメディアスリットBの吹抜部壁仕上に於いて、3F平面詳細図より、外壁側のボード下地が片面GB-Ft=21.0+21.0とありますが、GB-Rt=12.5+12.5と考えて宜しいでしょうか。また、成型板面の仕上は素地のままとなるのでしょうか。御指示下さい。	図面の通り、片面GB-Ft=21.0+21.0します。
201	設計図書 A-008-6・019-23・019-25・019-26	2FメディアスリットA・B・C・D、2F展示ロビーA・B・Cの壁仕上に於いて、ダイト上の突板練付仕様が仕上表と平面詳細図で相違します。仕上表のオーク突板練付が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
202	設計図書 A-008-6・015-10・015-11・054-2	2F展示ロビーA・B・C 電動ロールスクリーンボックスの仕様が不明です。スチール=1.6加工 SOP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	St PL-2.3曲加工 焼付塗装 とします。
203	設計図書 A-054-2	2F展示ロビーA・B・Cの電動ロールスクリーンの仕様が不明です。御指示下さい。	St PL-2.3曲加工 焼付塗装 とします。
204	設計図書 A-017-57・019-23	2F展示ロビーAの壁仕上に於いて、柱型のダイト下地はGB-Rt=12.5+12.5と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	GB-Rt12.5の上ダイトとします
205	設計図書 A-019-26	2F展示ロビーBのX12通り柱型に下地の記載がありません。図示通りとし、耐火塗装仕上となるのでしょうか。御指示下さい。	図面の通り耐火塗装とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
206	設計図書 A-008-3・008-4・ 021-6	1Fトラックヤード・搬入車庫の床仕上に於いて、アスファルト防水が必要とありますが、標準詳細図の記載では、アスファルト防水面に直に合金骨材配合強靱床仕上の記載です。車の乗り入れがあるため、アスファルト防水の上保護モルタル+押エコンクリート=80が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
207	設計図書 A-021-6	上記質疑に関連して、アスファルト防水の立上りはFL+300まで(保護モルタル施工)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
208	設計図書 A-008-3・008-4	1Fトラックヤード・搬入車庫の床仕上 合金骨材配合強靱床仕上はコンクリート金鍍同時押えの商品でしょうか。また、その場合、巾木は同時押えができないため、別仕様の塗床となるのでしょうか。詳細を御指示下さい。	同時押えではございません。仕上表の参考品番参照とします。
209	設計図書 A-008-3・019-12	1Fトラックヤードの床仕上に於いて、スロープ床面にアスファルト防水は不要となるのでしょうか。また、スロープの仕上が不明です。詳細を御指示下さい。	アスファルト防水は不要とします。A-064 雑詳細図/バックヤードスロープ参照ください。
210	設計図書 A-008-3・019-12	1Fトラックヤードの壁仕上に於いて、平面詳細図にECPt60 素地の記載がありますが、仕上表よりGB-St12.5+GB-Rt12.5+AEP塗装が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 また、1FL-1000～±0のコンクリート面は、打放補修+AEP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	ECPt60を正とします。 宜しいです。
211	設計図書 A-008-4・019-10	1F搬入車庫の床仕上に於いて、階段下にアスファルト防水は不要とし、の路面・蹴込仕上はモルタル下地+防塵塗装、ノンスリップ ステンレス W=35タイヤ付が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	アスファルト防水は必要とします。A-064 雑詳細図/バックヤードスロープ参照ください。
212	設計図書 A-008-4・019-10	1F搬入車庫の壁仕上に於いて、1FL-1000～±0のコンクリート面は、打放補修+AEP塗装と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
213	設計図書 A-008-4・019-10	1F荷解きスペースの床仕上に於いて、平面詳細図にAS防水とありますが不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
214	設計図書 A-048	1F搬入車庫 テーブルリフト設置用ヒット内の仕上が不明です。以下の様に考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ●床 コンクリート金鍍素地 ●立上り コンクリート打放補修素地 ●縁アングル L-50*50*4 SOP塗装	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	回 答
215	設計図書 A-019-10・019-12	1Fトラックヤード～荷解き場、搬入車庫～荷解きスペースの取合部段差床端部に縁アングルL-50*50*4 SOP塗装が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
216	設計図書 A-008-4・021-6	1F荷解きスペースの壁仕上に於いて、H=900までのボード素地仕上のボード仕様が、仕上表と標準詳細図(6)で相違します。標準詳細図(6)のGB-St=12.5素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
217	設計図書 A-008-3・008-4・015-5・015-7	1Fトラックヤード・搬入車庫の天井仕上に於いて、仕上表と天井伏図で記載が相違します。天井伏図のGB-St=12.5+GB-Rt=12.5+AEP塗装が正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
218	設計図書 A-016-12・019-12 他	各階非常用EV乗降口のAW窓額縁に於いて、建具表の見込寸法は63とありますが、平面詳細図の見込寸法に読み替えると考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
219	設計図書 A-017-13・019-11	1F廊下2のミニキッチン L=1200の仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	Brezza スレンドラインw1200同等とします
220	設計図書 A-093	1F廊下1 冷水機台 背面の壁 ステンレスパネル仕上がPHとありますが、PHL仕上と読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
221	設計図書 A-093	上記質疑に関連して、壁のステンレスパネル端部に見切は必要でしょうか。要となる場合は、仕様・詳細を御指示下さい。	不要とします。
222	設計図書 A-019-17他	1Fメディアウォイト・ホワイエ他 柱型の仕上で南北面 ダイライト6オーク突板練付UC・東西面 アルミ複合板ミラー仕上げt=3となる箇所の出隅部分に見切は不要でしょうか。必要となる場合は、仕様・詳細を御指示下さい。	不要とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
223	設計図書 A-019-18他	壁仕上に於いて、ダイト下地の上、天然木・オーク等の突板練付仕上とあります。既製の材料では無く、ダイト下地に木の突板練付を張り、塗装仕上をするのでしょうか。詳細を御指示下さい。	ご認識の通りです。
224	設計図書 A-008-5他	上記、ダイト下地の上、天然木・オーク等の突板練付仕上の、壁 出隅部に役物は必要でしょうか。必要となる場合は、仕様・詳細を御指示下さい。	必要です。無垢材口7mmとします。
225	設計図書 A-008-8・015-12	2F学芸廊下に於いて、仕上表備考欄にビクチャーレールとありますが、天井伏図に記載がありません。必要な場合、設置範囲を御指示下さい。	不要とします。
226	設計図書 A-008-10・015-13	3F廊下1の下り天井に於いて、仕上は化粧GB-Rt=12.5、端部 塩ビ製と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
227	設計図書 A-008-11・S-027	4F乗降ビンの床下地に於いて、仕上表では鋼製床組とありますが、構造伏図より床下がりがFL-10とあるため、コンクリート金鍍下地+長尺塩ビシートB貼と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
228	設計図書 A-019-29・S-024	3F EPS(X4～5・Y6A通り)の床仕上に於いて、SL-30とありますが、構造伏図よりFL-150が正とし、嵩上げコンクリートを打設と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	嵩上げ不要とします。
229	設計図書 A-015-18・015-19	4F天井伏図 トップライトの範囲に凡例昇降ハトンとありますが、仕様・詳細が不明です。御指示下さい。	電動ワイヤー巻取式 L=4000 積載荷重160kg 0.75kw とします。

NO	図面番号	質 疑	回 答
230	設計図書 A-003-4・A-015-1 ～015-20	天井点検口に於いて、特記仕様書より、450角と600角に適用の記載がありますが、使い分けが不明です。天井点検口A・Bそれぞれの450角・600角の設置箇所数を御指示下さい。	600角は天井伏図を参照ください。積算数量書の残りの数量を450角 として計上ください。
231	設計図書 A-011-2～011-6・ 030-5	消火器ボックスのサイン箇所数が60箇所とありますが、平面図のプロット数は50箇所かと思われます。いずれの箇所数を正とするか御指示下さい。	60箇所を正とします。
232	設計図書 A-060-1～060-15・ 061-1～061-5	展示ケースに於いて、ケースの測定に関しては竣工後と思われますが、建築工事範囲内での積算提出と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	宜しいです。測定を含めて工期内で行っていただく見込みです。
233	設計図書 A-003-3・018-1～ 018-9	断熱材に於いて、矩計図より、外壁面・外壁面のスラブ下返し・スラブ上等に記載がありますが、図示が無い範囲もあります。断熱材の仕様毎の範囲図をご提示願います。	外壁内側折り返し部に1000mmとします。
234	設計図書 A-304・306	茶室・茶会館は全面改修ではなく内部仕上表に記載されている項目のみの部分改修とし、特記なき限り既存の仕上と同材にて復旧すると考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	よろしいです。
235	設計図書 A-304	撤去する仕上材が不明瞭です。既存の内部仕上表がありましたら頂けないでしょうか。	別紙(仕上表06.07)をご参照ください。
236	設計図書 A-308	撤去する既存間仕切の仕様は全て土壁と考えて宜しいでしょうか、御指示下さい。	便所や倉庫の間仕切壁にジュラク吹付、合板仕上げがございます。別紙(仕上表06.07)の既存仕上表をご参照ください。

NO	図面番号	質 疑	回 答
237	設計図書 A-304・306	壁の撤去・新設について、内部仕上表/壁には耐震補強部分のみ記載されておりますが、改修平面図/壁詳細図には「既存土壁除去の上新規京聚楽水捏ね塗仕上」と「既存ラフトジョウク吹付除去の上特殊左官仕上t12.5」の記載があります。内部仕上表を正とし、壁の撤去・新設は耐震補強部分のみと考えて宜しいでしょうか。耐震補強部分以外に壁の撤去・新設が必要な範囲がありましたら、該当範囲を改修平面図にて御指示下さい。	耐震補強範囲外の壁は撤去新設不要です。
238	設計図書 A-306	既存柱に取り付く付け柱について、下記項目を御指示下さい。 ○仕上塗装の有無・仕様 ○樹種・等級 ○施工箇所	○塗装有り、浸透性木材保護塗料 ○杉一等 ○施工箇所：耐震補強により壁が新設される箇所
239	設計図書 A-310	天井伏図の部屋名の下に記載されている(7.5尺)や(8.0尺)等は天井高の事と思われますが、数字が読み取れない部屋(入側・寄付・機械室等)があります。改めて各室の天井高を御指示下さい。	入側：7.65～9.0尺 寄付：8.0尺 機械室：11.0尺
240	設計図書 A-306	改修平面図/共通改修内容(全体)に記載されている「G 照明器具・セード更新」は建築工事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	セード更新を建築工事として、電球等の照明器具は電気工事になります。
241	設計図書 A-306	改修平面図/共通改修内容(全体)に「腰張全面張替」と記載されておりますが、内部仕上表/腰張に記載されている部屋が該当すると考えて宜しいでしょうか。またその場合、下地を下記の様に考えて宜しいでしょうか。併せて御指示下さい。 ○耐震補強部分・・・ラスボード`t7.5+GB-Rt12.5 ○一般間仕切・・・既存土壁面	○耐震補強部分・・・ラスボード`t7.5+構造用合板t12 ○一般間仕切・・・既存土壁面
242	設計図書 A-306	上記質疑に関連しまして、腰張の高さはH900とし、腰上に木製見切縁が必要と考えて宜しいでしょうか。またその場合、部材寸法・仕上・樹種・等級も併せて御指示下さい。	腰張の高さはH300程度と考えてください。見切りは不要です。
243	設計図書 A-304・306・31	下記項目について、調整復旧する範囲・施工要領及び床・壁・天井の下地と仕上を場所毎に御指示下さい。 ○内部仕上表・・・構造補強箇所の内装は既存復旧 ○内部仕上表・・・既存復旧を行う天井や汚れの目立つ軒天・柱等の木K部はArk洗いを行う ○改修平面図/共通改修内容(全体)・・・「J」構造補強箇所の内装調整復旧 ○天井伏図/改修内容「洗」・・・耐震補強のため天井の調整復旧を行う箇所	よろしいです。

NO	図面番号	質 疑	
244	設計図書 A-310	天井伏図に空調制気口(木製カリ等)修繕が記載されておりますが、修繕とはカリを撤去・新設する事と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
245	設計図書 A-304・306	下記部屋において、内部仕上表/壁に「耐震補強の上～」と記載されておりますが、改修平面図に耐震補強が見当たりません。該当無しと考えて宜しいでしょうか。必要な場合、施工範囲を御指示下さい。 【茶室会館】玄関、西の間、鞘の間、次の間 【茶室】広間、入側、茶室、勝手水屋、控えの間	よろしいです。
246	設計図書 A-306	土間(X1-X2通り)・勝手土間(X8-X10通り)において、改修平面図に沓脱石の様な表しがありますが、既存のままと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
247	設計図書 A-306	土間(X1-X2通り)において、改修平面図に記載されている簀子は新設と考えて宜しいでしょうか。またその場合、仕様・詳細を御指示下さい。	既存利用とします。
248	設計図書 A-304	寄付において、内部仕上表/腰張に湊紙と西/内紙の2種類が記載されておりますが、それぞれの施工範囲を御指示下さい。	別紙(展開図45、46)をご参照ください。
249	設計図書 A-304	西の間他において、電気炉は既存のまま(畳表替えは必要)と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	電気炉は新設と考えてください。
250	設計図書 A-310	天井伏図/照明H詳細図において、次の間と鞘の間の照明のA寸法が38.78mmになっておりますが、387.8mmに読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
251	設計図書 A-305・306	入側(茶会館)において、玄関側(Y2-Y3通り間)の床仕上が現況平面図では板間、改修平面図では畳になっておりますが、既存も畳とし改修内容は畳表替えと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	既存板間のままと考えてください。

NO	図面番号	質 疑	
252	設計図書 A-304・306	入側(茶会館)において、内部仕上表/壁が空欄になっておりますが、耐震補強があります。 京聚楽壁水捏ね塗仕上を見込んで宜しいでしょうか。御指示下さい。	よろしいです。
253	設計図書 A-304・310	入側(茶会館)において、天井が全面ア/洗いの上復旧になっておりますが、復旧は雨漏り部分のみと考えて宜しいでしょうか。またその場合、復旧の範囲・詳細も併せて御指示下さい。	天井伏図の斜線範囲は全対象です。
254	設計図書 A-304・306	入側(茶会館)の戸袋(2箇所)に耐震補強がありますが、内部仕上が不明です。壁仕上及び天井高を御指示下さい。	別紙(詳細図24)ご参照ください。仕上りは既存同等と考えてください。
255	設計図書 A-304・306	勝手水屋(茶会館)の押入に耐震補強新設がありますが、内部仕上が不明です。壁仕上は京聚楽壁水捏ね塗仕上、天井高は7.4尺と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	内部仕上りはシナベニア張りとし、天井高は7.4尺でよろしいです。
256	設計図書 A-304・306	勝手土間(X8-X10通り)において、畳表替え及び敷瓦敷替えは不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	工事監理者と協議の上、現場にて必要と判断される場合に検討いたします。入札時はないものとして扱ってください。
257	設計図書 A-310	勝手土間(X8-X10通り)の天井高が下記の様になっております。7.5尺を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ○茶会館 天井伏図・・・7.0尺 ○立札席・茶室 天井伏図・・・7.5尺	7.0尺を正と考えてください。
258	設計図書 A-324	立札席において、建具詳細図(2)に記載されている下地隠し材及びスリムプレートは浸透性木材保護塗料が必要と考えて宜しいでしょうか。また樹種・等級も併せて御指示下さい。	よろしいです。杉一等と考えてください。

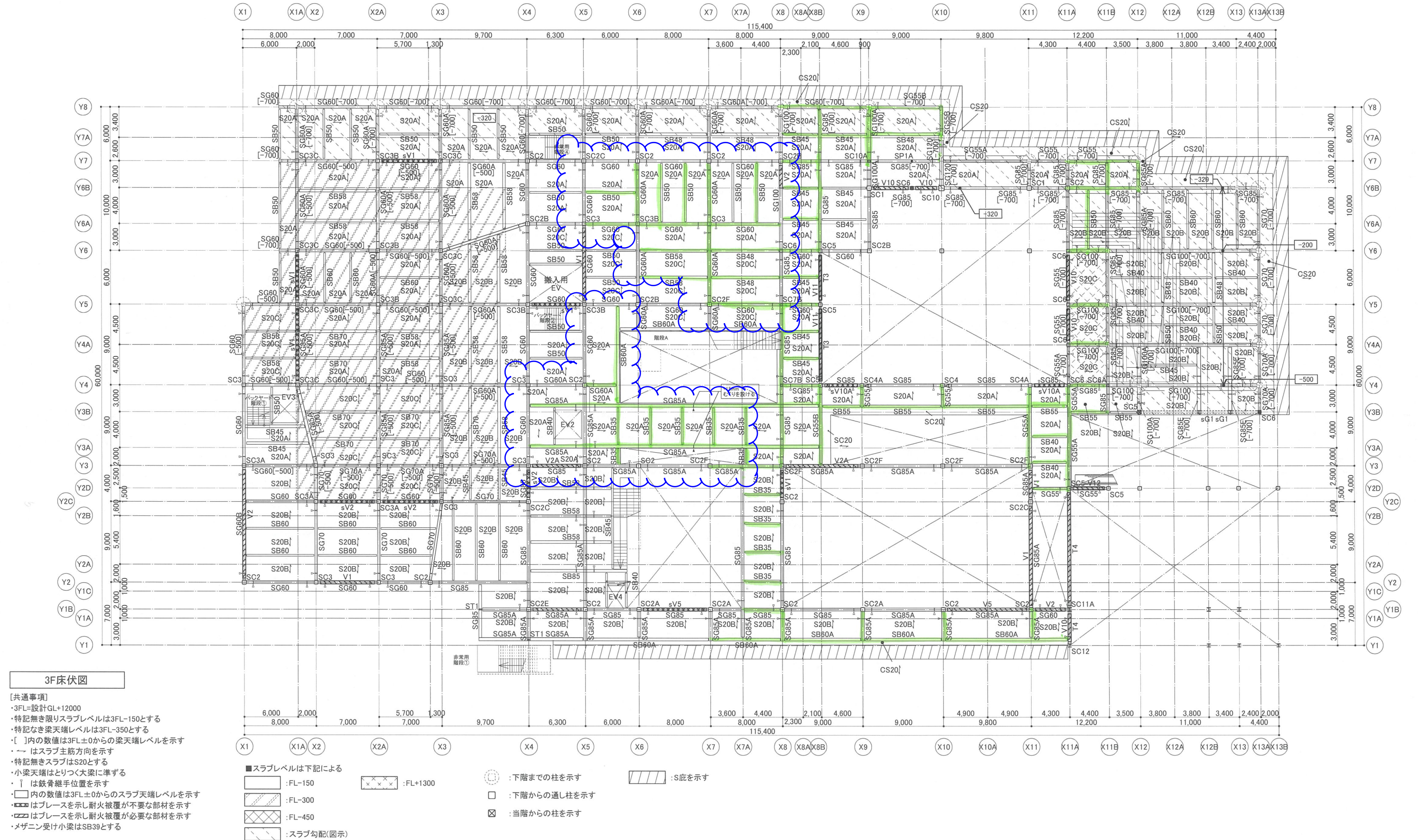
NO	図面番号	質 疑	
259	設計図書 A-016-19、016-20、 016-31	内部建具／下記の姿図に、合板t=12サンディング処理WPと図示ありますが、片面・扉のみ(枠は焼付塗装のまま)と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■SD-107、FSD-106、WD-103、WD-104	宜しいです。
260	設計図書 A-016-19、016-23、 016-24、016-25、 016-27	内部建具／下記の姿図に、不燃天然木突板シート貼りと図示ありますが、片面・扉のみ(枠は焼付塗装のまま)と 考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■SD-121、SD-213、FSD-201、FSD-204、FSD-206、FSD-214、FSD-215、FSD-219、FSD-220、FSD-251、 FSD-252、FSD-302	宜しいです。
261	設計図書 A-016-23、016-24	内部建具／下記の姿図に、ベニキ下地がラスクロス貼りと図示ありますが、片面・扉のみ(枠は焼付塗装のまま)と考 えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■SD-201、SD-202、FSD-223	宜しいです。
262	設計図書 A-016-24、016-31	内部建具／下記の姿図に、展示室側：ベニキ下地がラスクロス貼り、展示室ロビー側：不燃天然木突板シート貼りと図示 ありますが、扉のみ(枠は焼付塗装のまま)と考えると宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■FSD-202、FSD-213、FSD-256	宜しいです。
263	設計図書 A-016-14、016-32	内部建具／SLW-105(建具表-32)が1F建具キープランに見当たりません。建具キープラン：アートコミュニケーションルームの SLW-101を、SLW-105に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
264	設計図書 A-016-14、016-30	内部建具／SD-135は建具表(30)で中止となっておりますが、1F建具キープラン／女子WC(レストラン)には図示があり ます。建具表にて中止となっておりますので、不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
265	設計図書 A-016-14、016-30	内部建具／SD-138(監視室 屋内消火栓カバー)×1ヶ所が、建具キープランにて避難階段②にも図示があります。避 難階段②には屋内消火栓はありませんので、避難階段②のSD-138は不要と考えて宜しいでしょうか。御指示下 さい。	宜しいです。
266	設計図書 A-016-26、016-29	内部建具／GD-301：強化ガラスドアのガラス厚23と記載ありますが、GD-201のように12mmと考えて宜しいでしょ うか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	
267	設計図書 A-016-26、016-29	内部建具／GD-301：強化ガラスドア面には、GD-201のように飛散防止フィルム貼が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
268	設計図書 A-016-28、016-29	内部建具／FSW-303はケイ酸ソーダ層入りガラスのFIX窓ですが、FSW-301・302のように1時間耐火壁と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
269	設計図書 A-016-28、016-29	内部建具／FSW-101・301・302・303はケイ酸ソーダ層入りガラス・1時間耐火壁のFIX窓ですが、ガラス一体型・個別認定品の建具と考えて宜しいでしょうか。また、メーカー・品番等の同等品が御座いましたら、御指示下さい。	宜しいです。 株式会社パイロシステム 製品名：パイロスリムウォール 同等品
270	設計図書 A-016-21、016-29、016-31	内部建具／SW-104・105・301・108の強化ガラス仕様が、種類欄：TMG(高透過)、厚み欄：TP(透明)と異なります。ガラス仕様は、TMG12+PVB1.52-2.25+TMG12と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
271	設計図書 A-016-21、016-25、016-26、016-28、016-29、A-042-1、A-042-2	内部建具／下記の自動ドアは、強化ガラス戸(ガラス工事)でしょうか。それとも框戸(サッシ工事の扉にガラスを現場取り付け)でしょうか。また、詳細図：自動扉エンジン図からは判断できませんでしたので、御指示下さい。 ■SSD-101、SSD-102、SSD-203、SSD-204、SSD-205、SSD-206、SSD-303、SSD-302	框戸(サッシ工事の扉にガラスを現場取り付け)とします。
272	設計図書 A-016-6、016-7、016-8、016-9	外部建具／下記の自動ドアは、強化ガラス戸(ガラス工事)でしょうか。それとも框戸(サッシ工事の扉にガラスを現場取り付け)でしょうか。また、詳細図：自動扉エンジン図からは判断できませんでしたので、御指示下さい。 ■SSD-102、SSD-103、SSD-101、SSD-104、SSD-301、SSD-302、SSD-303	框戸(サッシ工事の扉にガラスを現場取り付け)とします。
273	設計図書 A-016-21、016-26 他	内部建具／ガラス面：飛散防止フィルム貼りのメーカー・品番等の同等品が御座いましたら、御指示下さい。	3M ウィンドウフィルムSH4CLAR同等品
274	設計図書 A-016-6、016-7他	外部建具／ガラス面：飛散防止フィルム貼り(紫外線カットタイプ)のメーカー・品番等の同等品が御座いましたら、御指示下さい。	3M ウィンドウフィルムSH4CLAR同等品

NO	図面番号	質 疑	
275	設計図書 A-013-1、013-2、 016-9、016-12	外部建具／AW-201等の複層ガラス:空気層が、立面図:A12、建具表:A6と異なります。立面図のA12を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	建具表を正とします。
276	設計図書 A-016-9、036-1	外部建具／AW-201のガラス種類:目隠しボードが、建具表と特別詳細図にて下記のように異なります。建具表を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■建具表 …… FL8+A12+FL8 (上記質疑より空気層A12)、目隠しボード6mm ■詳細図 …… SL6+A12+Low-E5、FL12+A12+Low-8、HS8、FL10+A12+Low-6、HS6、FL10+A12+Low-8、FL12+A12+Low-10、目隠しボード10mm	宜しいです。
277	設計図書 A-016-9、016-12	上記質疑にて詳細図が優先される場合は、他のアルミ製建具についても建具表がガラスから他のガラスに変更となると思われますので、新たにガラス種類を御指示下さい。 ■AW-302、AW-101、AW-301、AW-B01、AW-102、AW-202、AW-303、AW-401	質疑281は建具表を正とします。
278	設計図書 A-036-1	外部建具／アルミ製建具の遮音性は、特別詳細図:アルミサッシ(AW-201)より遮音性T-2と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
279	設計図書 A-016-9、036-1	外部建具／アルミ製建具の性能等級が、特記仕様書と特別詳細図(AW-201)にて下記のように異なります。特記仕様書を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■特記仕様書 …… 国交省C種 S-6、A-4、W-5 ■特別詳細図 …… S-5、A-4、1000Pa	宜しいです。
280	設計図書 A-016-9、0361-1	外部建具／AW-201の枠見込が、建具表:125、特別詳細図:100と異なります。枠見込:100を正と考えて宜しいでしょうか。また、AW-101、AW-301も同様に枠見込:100と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
281	設計図書 A-016-9	外部建具／AW-302の建具表にて枠見込:52.8と記載ありますが、枠見込:100に読み替えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
282	設計図書 A-016-12	外部建具／AW-B01・102・202・303.401は、フリース網戸(合成樹脂製)が必要と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。

NO	図面番号	質 疑	
283	設計図書 A-016-7	外部建具／SW-110の姿図：斜線部は、バックパネル：ケイカル板t=6.0+AEP塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
284	設計図書 A-016-8	外部建具／SW-111の姿図：斜線部は、バックパネル：ケイカル板t=6.0+AEP塗と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
285	設計図書 A-013-1、A-018-1、 A-016-6他	外部建具／SW(大型ガラススクリーン)の工法が、立面図・矩計図・建具表にて下記のように異なります。シール接着構法を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■立面図 …… コマガラス工法（凡例⑨） ■矩計図 …… シール接着構法 ■建具表 …… 接着工法	宜しいです。
286	設計図書 A-019-14、019-16、 019-18、035-1他	外部建具／SW(大型ガラススクリーン)の方立FBのサイズが、平面詳細図：80×160、特別詳細図：75×125と異なります。詳細図：75×125を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
287	設計図書 A-016-21、016-28、 016-29、016-31	内部建具／SW(大型ガラススクリーン)の枠・方立・コーナー部などの納まりが判断できません。上下・端部：枠あり両面ガラスシール、方立の縦目地：ガラス突合せシール(コーナー部)と考えても宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■SW-103、SW-104、SW-105、SW-302、SW-301、SW-108	宜しいです。
288	設計図書 A-16-17、16-29、 045-3	内部建具／特別詳細図の搬入用EV機械室(4F)にて両開き戸が図示ありますが、建具キープランでは建具符号が記載ありません。FSD-405Iに倣って下記のように考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。 ■FSD-4階 両開き戸W1600×H2000 特定防火設備 防音AT 仕上:UU(焼付)	宜しいです。
289	設計図書 A-039	特別詳細図 外部・内部シャッターにて、レール部詳細図にレールカバー・三方枠のようなスチールt=1.6が図示されています。この納まり・詳細が必要な建具符号を御指示下さい。	外部建具SS101とします。

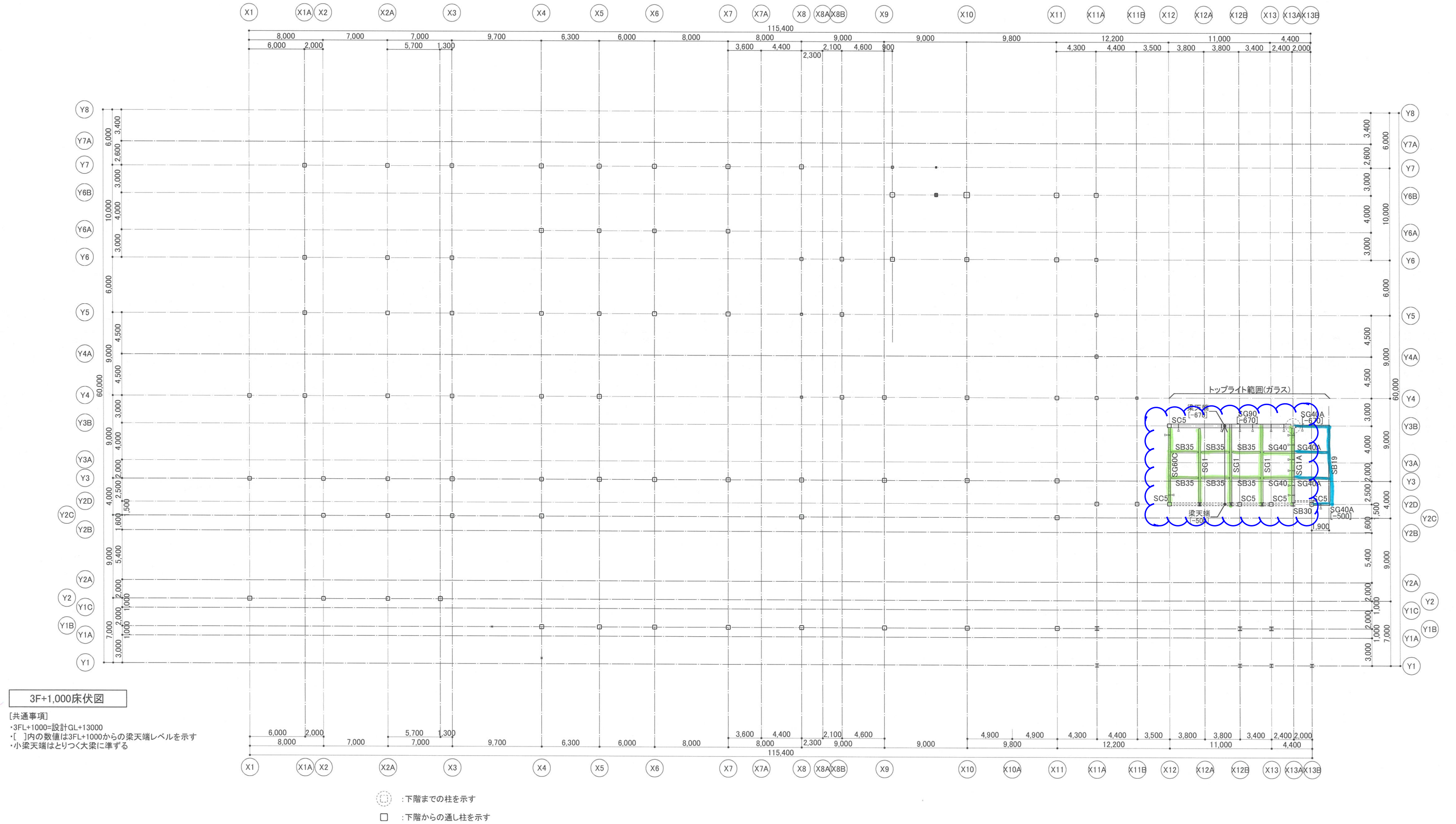
NO	図面番号	質 疑	
290	設計図書 A-016-25、043-1	内部建具／FSD-237の寸法が、建具表：W1100、収蔵庫詳細図：W900と異なります。収蔵庫詳細図：W900を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
291	設計図書 A-016-28、043-4	内部建具／FSD-321の寸法が、建具表：W1100、収蔵庫詳細図：W900と異なります。収蔵庫詳細図：W900を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
292	設計図書 A-016-29、043-4	内部建具／FSD-407の寸法が、建具表：W900×H2100、収蔵庫詳細図：W1000×H2200と異なります。収蔵庫詳細図：W1000×H2200を正と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
293	設計図書 A-018-1他	外部建具／屋根トッライトのガラス面：飛散防止フィルム貼りは、紫外線カットタイプと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
294	設計図書 A-008-1、013-1、018-1、018-8、034-1他	外部建具／屋根トッライトのガラス：PW10+A12+FL10について、矩計図(8)(9)のみ「Low-E仕様」となっております。「Low-E仕様」と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
295	設計図書 A-059、S-56	質疑回答8-18において、車路スロープの先端部土間、立上りのコンクリート強度は、本体から縁が切れているため、FC21N S18程度と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	宜しいです。
296	設計図書 A-011-3	質疑回答8-26において、1階平面図敷地南西部に、凡例のない扉がありますが、仕様、寸法等を御指示下さい。	L-11 門扉-1同等とします。
297	設計図書 A-008-6・018-4	2F展示ロビーAの床仕上に於いて、矩計図(4)に耐荷重性能の記載がありますが、仕上表より、耐荷重性能の仕様は無しと考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	展示ロビーAに関しては3500N/m2とします。耐荷重はS-133積載荷重図を参照ください。

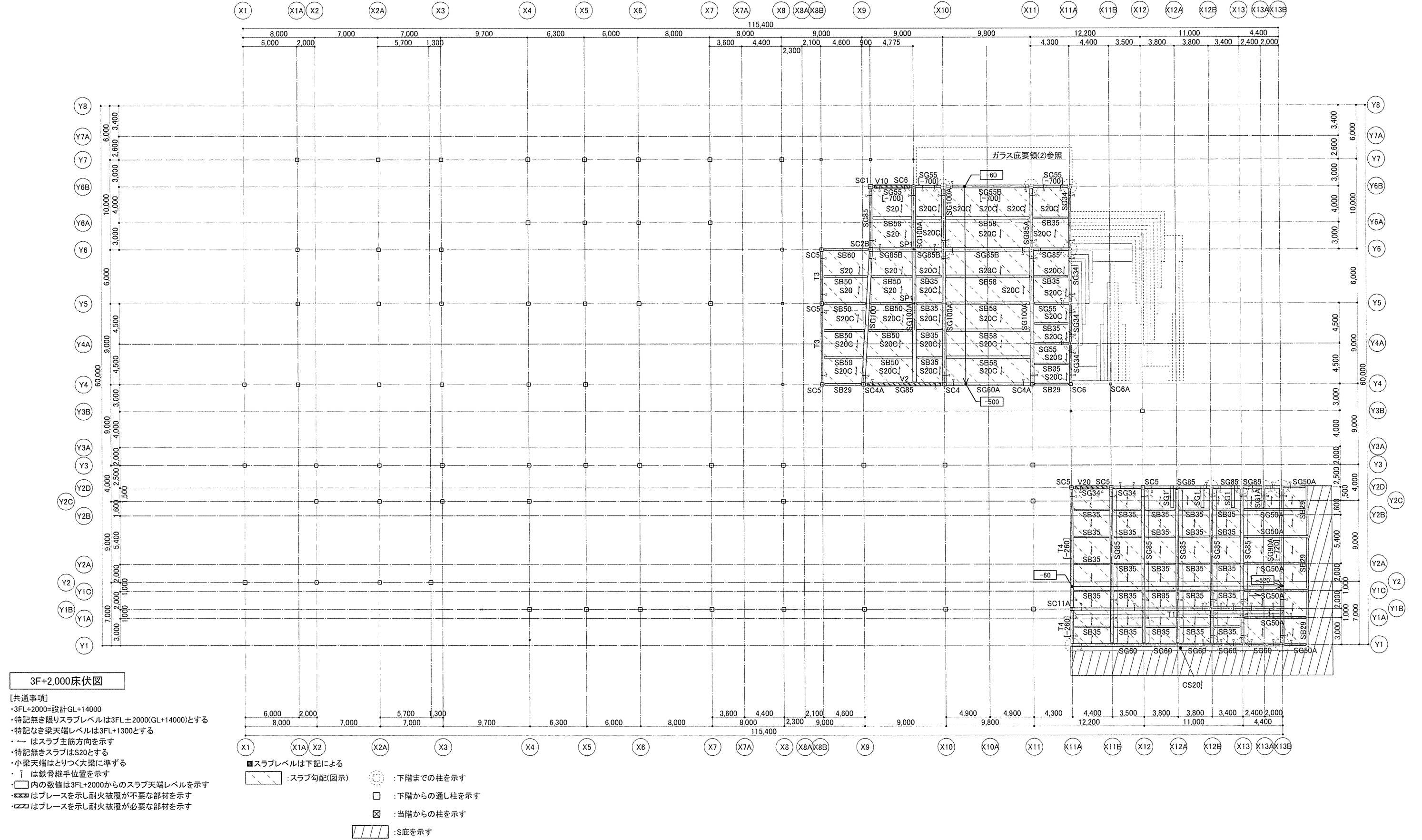


3F床伏図

[共通事項]
・3FL=設計GL+12000
・特記無き限りスラブレベルは3FL-150とする
・特記なき梁天端レベルは3FL-350とする
・[]内の数値は3FL±0からの梁天端レベルを示す
・---はスラブ主筋方向を示す
・特記無きスラブはS20とする
・小梁天端はとりつく大梁に準ずる
・↑は鉄骨継手位置を示す
・[]内の数値は3FL±0からのスラブ天端レベルを示す
・[]はブレースを示し耐火被覆が不要な部材を示す
・[]はブレースを示し耐火被覆が必要な部材を示す
・メザニン受け小梁はSB39とする

- スラブレベルは下記による
- [] : FL-150
 - [] : FL-300
 - [] : FL-450
 - [] : スラブ勾配(図示)
- : 下階までの柱を示す
- : 下階からの通し柱を示す
- ☒ : 当階からの柱を示す
- /// : S底を示す



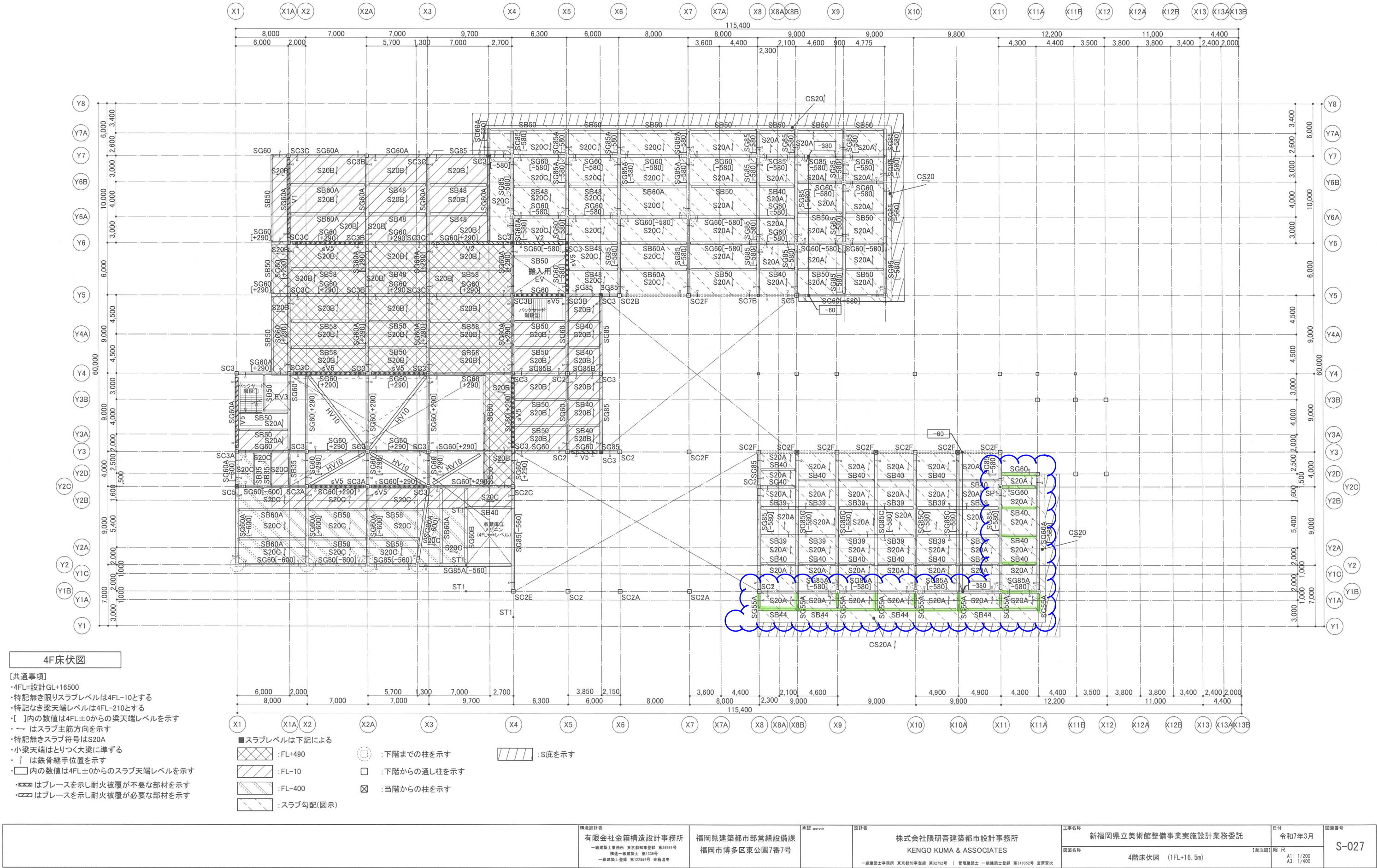


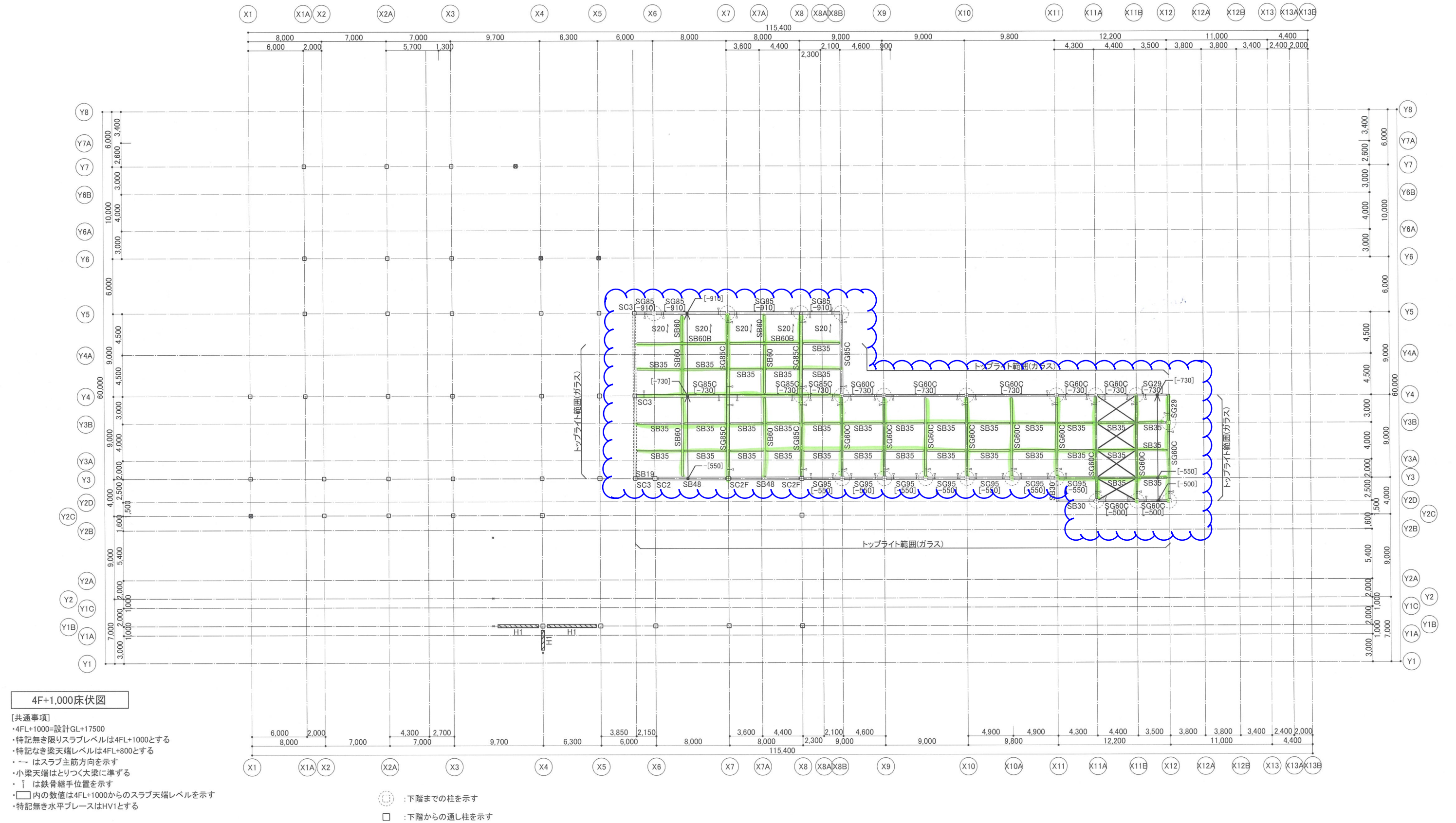
3F+2,000床伏図

- 【共通事項】
- ・3FL+2000=設計GL+14000
 - ・特記無き限リスラブレベルは3FL±2000(GL+14000)とする
 - ・特記なき梁天端レベルは3FL+1300とする
 - ・--- はスラブ主筋方向を示す
 - ・特記無きスラブはS20とする
 - ・小梁天端はとりつく大梁に準ずる
 - ・↑ は鉄骨継手位置を示す
 - ・□内の数値は3FL+2000からのスラブ天端レベルを示す
 - ・ はブレースを示し耐火被覆が不要な部材を示す
 - ・ はブレースを示し耐火被覆が必要な部材を示す

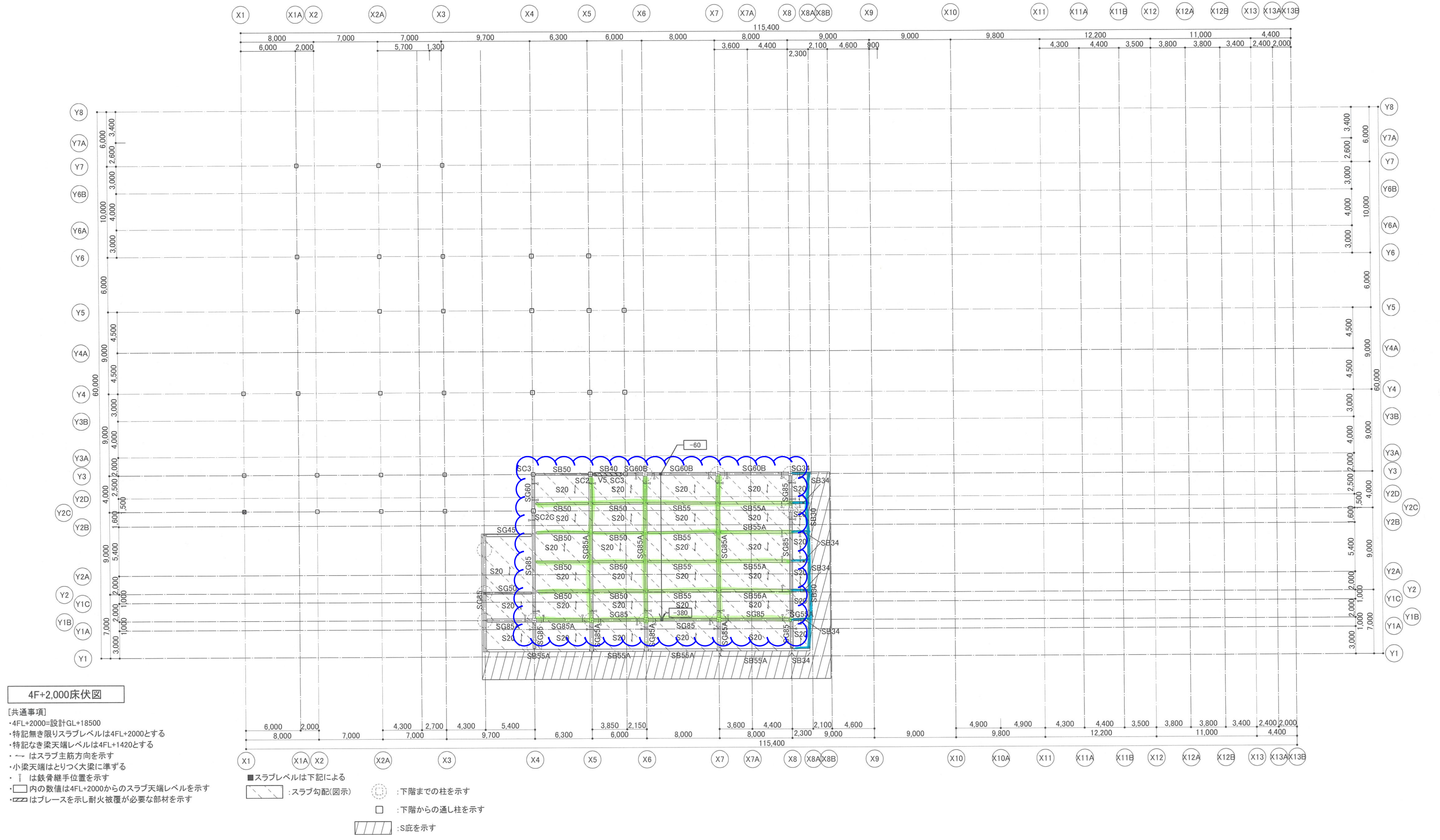
- スラブレベルは下記による
- :スラブ勾配(図示)
- :下階までの柱を示す
- :下階からの通し柱を示す
- :当階からの柱を示す
- :S庇を示す

構造設計者 有限会社金箱構造設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第36591号 番地一級建築士 第1335号 一級建築士登録 第122854号 金箱道孝	福岡県建築都市部営繕設備課 福岡市博多区東公園7番7号	承認 代表者 設計者 株式会社隈研吾建築都市設計事務所 KENGO KUMA & ASSOCIATES 一級建築士事務所 東京都知事登録 第32752号 管理建築士 一級建築士登録 第319352号 岩澤賢次	工事名称 新福岡県立美術館整備事業実施設計業務委託 図面名称 3階床伏図+2.0m (1FL+14.0m)	日付 令和7年3月	図面番号 S-026
				縮尺 A1 1/200 A3 1/400	





構造設計者 有限会社金箱構造設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第34591号 構造一級建築士 第1335号 一級建築士登録 第122854号 金箱達香	福岡県建築都市部営繕設備課 福岡市博多区東公園7番7号	承認 代表者 設計者 株式会社隈研吾建築都市設計事務所 KENGO KUMA & ASSOCIATES 一級建築士事務所 東京都知事登録 第32752号 管理建築士 一級建築士登録 第319352号 宮原賢次	工事名称 新福岡県立美術館整備事業実施設計業務委託 図面名称 4階+1.0m床伏図 (1FL+16.5)	日付 令和7年3月 【無注記】縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面番号 S-028

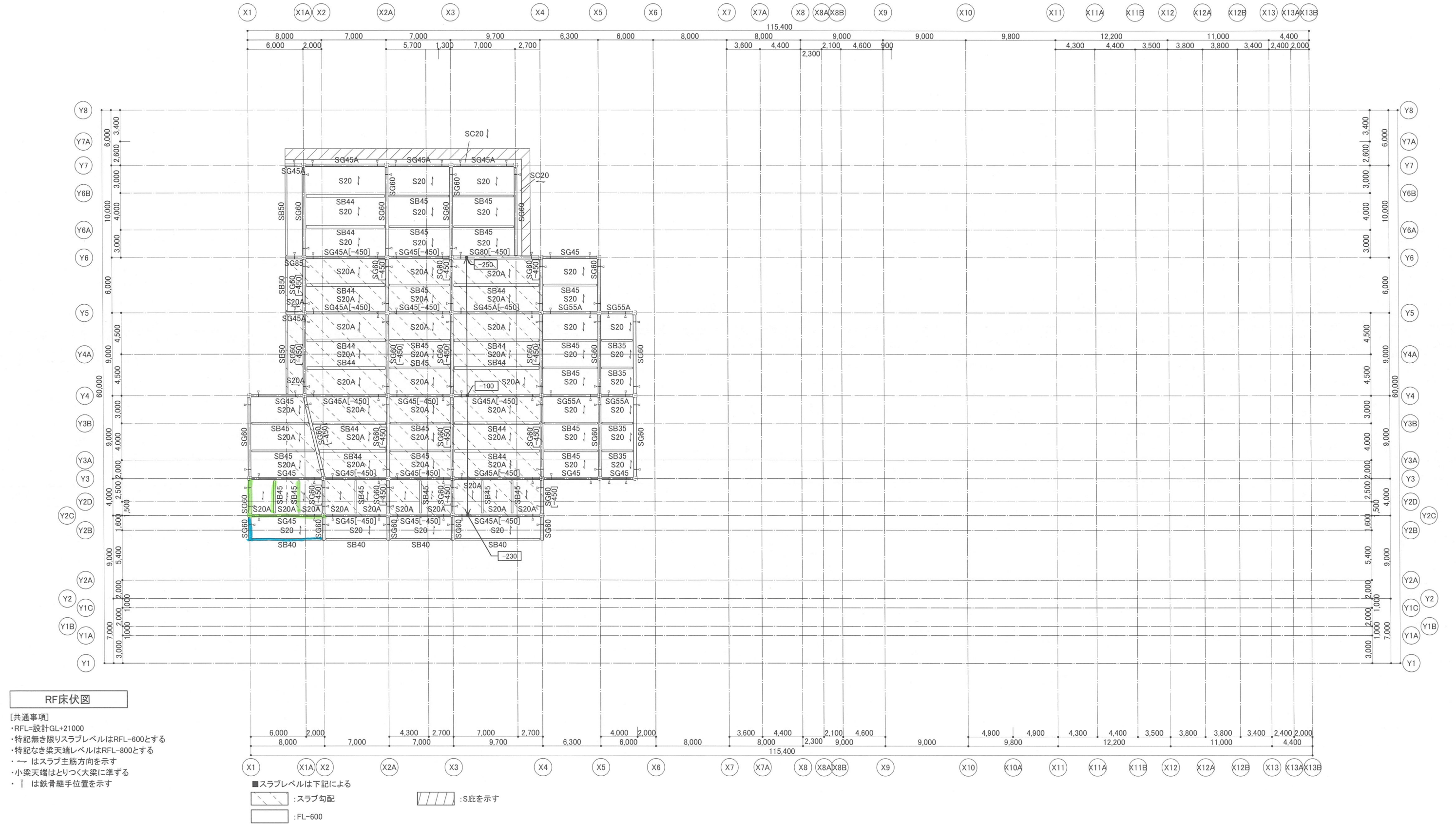


4F+2,000床伏図

- 【共通事項】
- ・4FL+2000=設計GL+18500
 - ・特記無き限りスラブレベルは4FL+2000とする
 - ・特記なき梁天端レベルは4FL+1420とする
 - ・← はスラブ主筋方向を示す
 - ・小梁天端はとりつく大梁に準ずる
 - ・↑ は鉄骨継手位置を示す
 - ・□ 内の数値は4FL+2000からのスラブ天端レベルを示す
 - ・はブレースを示し耐火被覆が必要な部材を示す

- スラブレベルは下記による
- ▨ : スラブ勾配(図示)
- : 下階までの柱を示す
- : 下階からの通し柱を示す
- ▨ : S庇を示す

構造設計者 有限会社金箱構造設計事務所 一級建築士事務所 東京都知事登録 第34591号 構造一級建築士 第1335号 一級建築士登録 第122854号 登録通巻	福岡県建築都市部営精設備課 福岡市博多区東公園7番7号	承認 代表取締役	設計者 株式会社隈研吾建築都市設計事務所 KENGO KUMA & ASSOCIATES 一級建築士事務所 東京都知事登録 第32752号 管理建築士 一級建築士登録 第319352号 登録通巻	工事名称 新福岡県立美術館整備事業実施設計業務委託	日付 令和7年3月	図面番号 S-029
				図面名称 4階+2.0m床伏図 (1FL+17.5)	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	



茶室会館
立礼庫棟外 部仕上表

屋根	(下地) スチールルーフィング(22kg) 日本瓦葺(六四瓦葺、一瓦厚瓦)、脂葺:銅板(一瓦厚葺) 銅板厚0.3mm	開口部	木製建具 一部アルミサッシ
植	(棟) 肌付1段、肩付4段積、素瓦伏也、(大屋根棟) 肌付1段、肩付2段積、素瓦伏也、(内礼庫棟) 銅板仕舞ノ上、肌付1段、 肩付2段積、素瓦伏也、	断熱材	(天井裏) グラスウール厚50mm (床下) グラスウール厚50mm 敷込み (厨房、倉庫、中廊下) 板張部分
軒	銅製(詳細図参照)	換気口	小屋裏換気口、床下換気口: 詳細図参照
天	(主) 木目張り、木舞(米杉)、ヒビラミ2寸×1.8寸種(化粧屋根裏木舞入) (下) 木目張り、木舞(米杉)、ヒビラミ1.5寸×1.3寸種(化粧屋根裏木舞入) (内礼庫棟) 木目張り、木舞(米杉)、桧小丸太9寸種角(化粧屋根裏木舞入) (内廊下) 黒部杉/木舞明面張り、木舞(米杉)、杉席小丸太中通り径1.5寸(化粧屋根裏木舞入) (倉庫下) 黒部杉/木舞明面張り、木舞(米杉)、桧小丸太中通り径1.5寸(化粧屋根裏木舞入) (中廊下) 黒部杉/木舞明面張り、木舞(米杉)、杉席小丸太中通り径1.5寸(化粧屋根裏木舞入) (外廊下) 黒部杉/木舞明面張り、木舞(米杉)、杉席小丸太中通り径1.5寸(化粧屋根裏木舞入)	掃縁	詳細図参照
壁	京繫染中塗り上塗り仕上、一部 杉皮張、素六角ナグリ押工 (外廊: ハイフレックス混入、シリコン喰付仕上、内廊、ベランダ混入)	戸袋	詳細図参照
格子	米杉、白竹	脚元	着石: 御影石、ピツタンタタキ仕上、哲石(自然石)
障	障板: 米杉板、障止: 素六角ナグリ、 (後廊下) 米杉板(壁羽目板張)、押工: 素六角ナグリ (相注)		

内部仕上表

室名	床		市木	腰	壁		天井		廻縁	備考
	仕上	下地			仕上	下地	仕上	下地		
土間	タイル張(既成品) (四半数)	土間コンクリート	腰板 (米杉)		京繫染 中塗り上塗り仕上	真壁荒土塗	杉板代張 杉板合板鏡張	野縁	米杉	下足箱(内装: 杉板張) 昔脱石: ミナガ石 7R×1.2R×6寸
玄関	タタミ敷	杉板(仕上厚50) 片間、フレナ付	タタミ寄		合上	合上	杉板合板(岸縁)	合上	合上	地袋(内装: 漆喰塗、天板: 赤松縁付)
寄付	合上	合上	合上	漆紙張 (内装紙張)	合上	合上	合上	合上	合上	地袋(内装: 漆喰塗、天板: 赤松縁付)
入側	合上	合上	合上	漆紙張	合上	合上	米杉板敷目張 木目舞 (化粧屋根裏)	合上	合上	
西側間	合上	合上	合上		合上	合上	杉板合板(岸縁) 床: 杉板合板鏡張	合上	合上	床: 赤松縁付 式漆塗 天板照明、空調吹出口装置取付、炉壇
鞘間	合上	合上	合上		合上	合上	杉板合板(岸縁)	合上	合上	天井照明、空調吹出口装置取付
次間	合上	合上	合上	面紙張	合上	合上	合上	合上	合上	合上、炉壇
座敷	合上	合上	合上	合上	合上	合上	杉板合板(岸縁) 床: 杉板合板鏡張 鴨居: 杉板合板鏡張	合上	合上	床: 杉板合板、床板: 漆喰塗、床板: 赤松縁付 地袋(内装: 漆喰塗、天板: 赤松縁付) 棚、炉壇、天井照明、空調吹出口装置取付、 (外廊)
勝手水屋	合上	合上	合上	漆紙張	合上	合上	杉板合板(岸縁)	合上	合上	水屋流し、箆子、棚、4ヶ釘、天袋
勝手土間	タタミ敷 (既成品)	合上	タタミ寄 (米杉)	漆紙張	合上	合上	合上	合上	合上	踏台: 素六角仕上(石)
立礼席	タイル張(既成品) (四半数)	土間コンクリート	腰板 (米杉)	漆紙張	合上	合上	漆天井: 黒竹スノコ張、床: 杉板合板鏡張 手元: 米杉板松アミ張 化粧屋根裏、鴨居: 杉板合板鏡張	合上	合上	床: 杉板合板、床板: 漆喰塗、床板: 赤松縁付 床: 赤松縁付 式漆塗 天井照明装置取付
渡廊下	合上(既成品) (四半数)	土間コンクリート	合上		合上	合上	化粧屋根裏木舞入			
踏込	松張化粧合板		米杉 (ヒビラミ) 成寸		ラブリンツエラク吹付	プラスチックボード張 (Jエ法) 90mm	杉板合板敷目張	野縁	米杉	掃除用具物入(壁)モルタル塗金ゴテ仕上(フック付) (床)モルタル塗金ゴテ押工
男子便所	タイル張	ALC板	厚米(大理石) 成寸			合上	合上	合上	合上	洗面化粧台
倉庫	松張化粧合板		米杉 ローラー 成寸		板合板 V目地		板合板打上	合上	米杉	収納棚: 別注(協議スル)
厨房	松張化粧合板		米杉 ローラー 成寸		ラブリンツエラク吹付 一部、半粒タイル張 京繫染 中塗り上塗り仕上	プラスチックボード張 (Jエ法) 木目舞	耐火ボード(厚12mm)Jエ法 クロス張(防炎加工)	合上	合上	流し台セット、吊天袋
勝手口	タタミ張仕上	土間コンクリート	米杉		京繫染 中塗り上塗り仕上	真壁荒土塗	杉板合板敷目張	合上	合上	昔脱石(自然石)
機械室	土間コンクリート 金ゴテ押工		モルタル金ゴテ 押工		プラスチックボード⑩12mm 遮音シート⑩1.2mm	グラスウール⑩50mm 遮音シート⑩1.2mm	合上	合上	合上	
内廊下	タタミ敷 松張化粧合板	杉板(仕上厚50) 片間、フレナ付	タタミ寄	漆紙張	京繫染 中塗り上塗り仕上	真壁荒土塗	杉板合板敷目張	野縁	米杉	
押入	杉板厚60		桧巾着		楊桐ニヤ(7mm×5mm)	真壁荒土塗	板合板鏡張	合上	合上	棚





工事名称	福岡県立茶室会館(仮称) 新築工事	工事場所	福岡市中央区大濠公園内	設計者	設計者氏名 一級建築士(京都府)8668号 大倉三郎	事務所名及び所在地	事務所: 京都市下京区下鴨町木下5番地(財)生産開発科学研究所内 財団法人 京都伝統産業技術協会 一級建築士事務所	図面名称	仕上表 茶室会館棟	縮尺	1/50	担当者	係長	補佐	課長	図面番号	06
------	----------------------	------	-------------	-----	-------------------------------	-----------	--	------	-----------	----	------	-----	----	----	----	------	----

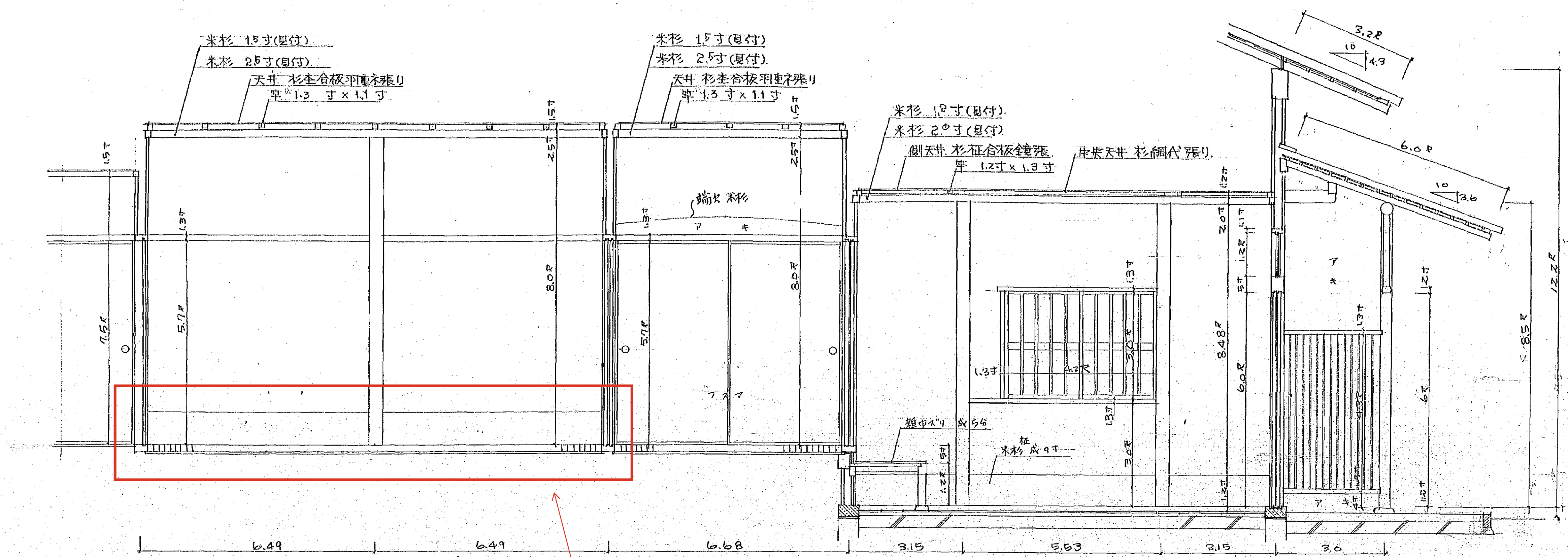
茶室棟 外部 仕上表

屋 根	アスファルト・フイング(スズ) 銅板一枚葺き ハッチ、厚 0.35"以内	壁	(外壁) 聚華壁塗(ハイレックス混入、シリコン吹付雨・吹付け3回)
樋	魚鱗銅板仕舞(上、肌耐斗1段、耐斗2段積、上素丸伏せ、一部耐斗2段積、上素丸伏せ) (下、肌耐斗1段、耐斗2段積、上素丸伏せ)	腰 (壁)	(雨ど外壁) クラスカル凝結塗(色モルタルリッソナキ落シ)
軒 天	銅、製 軒板一枚、堅板共ニ銅板①0.4mm	格 子	真竹 3本横打、赤杉生板(厚1.5cm)腰板張、床六角ナグリ壁止
	(主、黒部杉) 木舞 羽重不張、木舞、杉磨小丸太1.8寸押角種。(化粧層根裏木舞入)	脚 元	白石
	(上間仕) 黒部杉、木舞 羽重不張、木舞、杉磨小丸太1.5寸種。(今 上)	軒 内	根石(自然石)、建物廻り壁下差石(自然石)
	(北側上間仕) 黒部杉、木舞 羽重不張、木舞、杉磨小丸太1.5寸種。(今 上)	断 熱 材	深草叩き(下地合ム)、別途
	(簾除底) 杉皮裏板張 木舞、杉磨小丸太1.5寸種。(今 上)	小屋裏換気口	(床下裏) クラスカル①50mm
開口部	木製建具		小屋裏換気口(面々板) クラスカル①50mm

内部仕上表

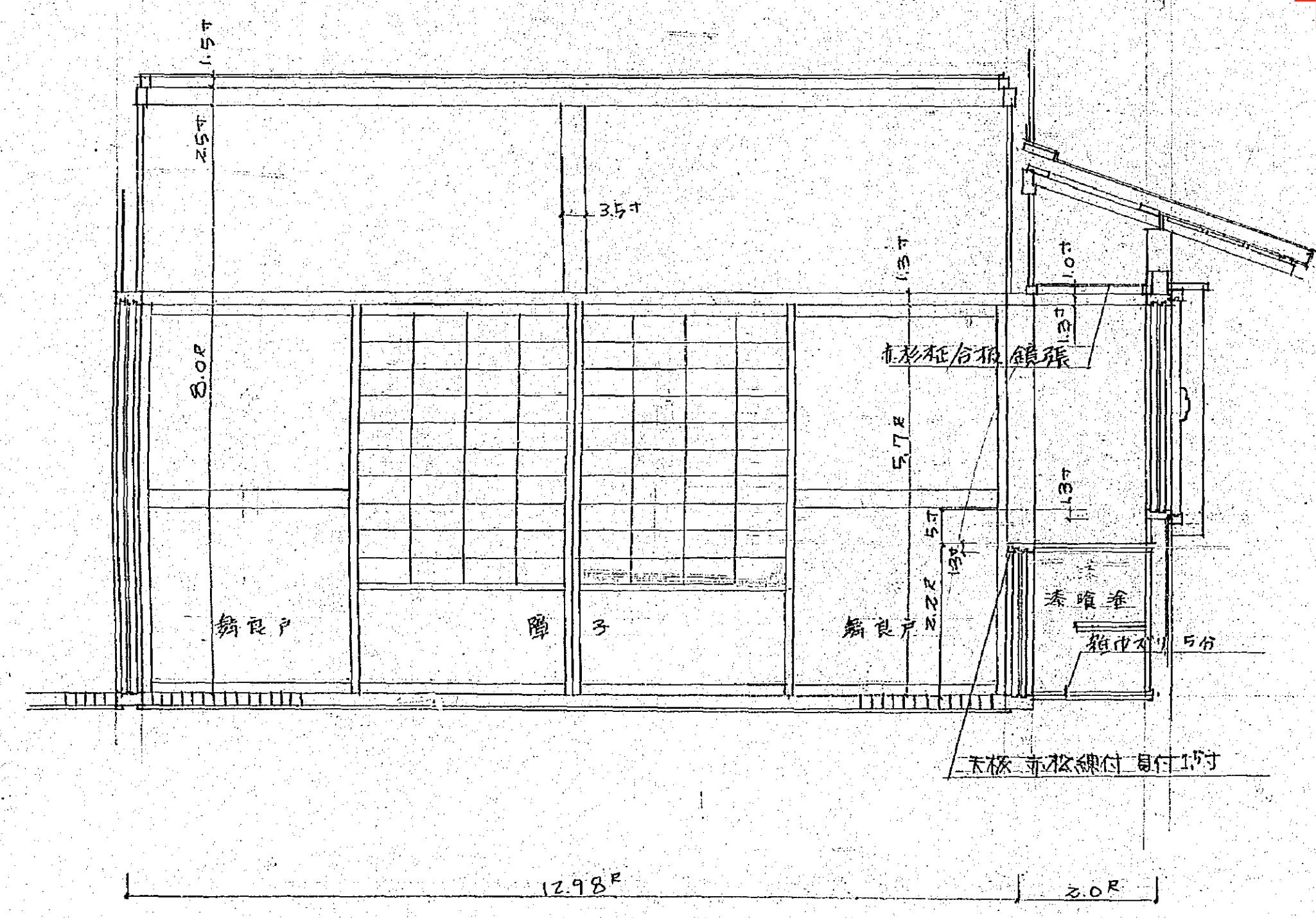
室名	床		巾木・腰		壁		天井		廻縁	備考
	仕上	下地			仕上	下地	仕上	下地		
広間	タタミ敷	杉板厚6分 (片面、フローリング)	タタミ寄	和紙張	聚楽壁水ゴ不塗 (最上塗り)	真壁土塗	赤杉木板(竿縁)	野縁	赤杉	床畳：厚敷(同シ) 床柱：北山杉 ^{天然} 丸太面付(上面留漆) 端材：赤杉 天袋：赤松拭漆 人側境欄間：赤杉木板(欄間宜木=ゴマ竹)
入側	同上	同上	同上		同上	同上	赤杉木板(竿縁)	同上	同上	当院石(自然石) 戸袋：赤杉
押入	杉板厚6分		雑巾スリ		漆喰塗	同上	杉板目板(竿縁)	同上	同上	棚入
茶室	タタミ敷	杉板厚6分 (片面、フローリング)	タタミ寄	和紙張 漆紙張	聚楽壁水ゴ不塗 (引張り仕上)	同上	平天井：黒部杉木ノ不細代 (竿白竹) 落天井：黒無糸綱(竿白竹) 化粧屋根裏：黒部杉木ノ不板 床：赤杉中木板鏡張	同上	赤杉 芽付白竹 (点前座)	床畳：厚敷(同シ) 床柱：北山杉 ^{天然} 丸太(上面留漆) 端材：赤杉 天柱：香節丸太 初壁止：杉(中柱) 大層：暖簾掛具並置取付 化粧屋根裏：杉木鼻、排憂竹
握り間	同上	同上	同上	漆紙張	聚楽壁水ゴ不塗 (引張り仕上)	同上	黒部杉木ノ不板(底中) (竿縁白竹) 床：赤杉木鏡張	同上	赤杉	床柱：栲丸太 床：赤杉木(厚1寸ボウズ削取) 拭漆塗 小引棚
勝手小屋	タタミ敷 小屋流し前板：赤松銘甲板 厚5分	同上	同上	漆紙張	同上	同上	赤杉中木板(竿縁) 物入：杉板目板(竿縁) 天袋 小屋脇：赤杉木板(竿縁)	同上	同上	小屋廻り(棚、簀子、流し、物入、天盤、枿板) 木檢金具(テウスソコキ)、カヌック 小屋脇：租用(杉板)、地袋(赤杉板) 当院石(自然石) スライヤボックス、折タタミ式棚

工事名称	工事場所	設計者 設計者氏名	図面名称	縮尺	担当者	係長	補佐	課長	図面番号
福岡県立茶道会館(仮称) 新築工事	福岡市中央区大濠公園内	一般建築士(京都府)8668号 大倉三郎	仕上表茶室棟	日付					07

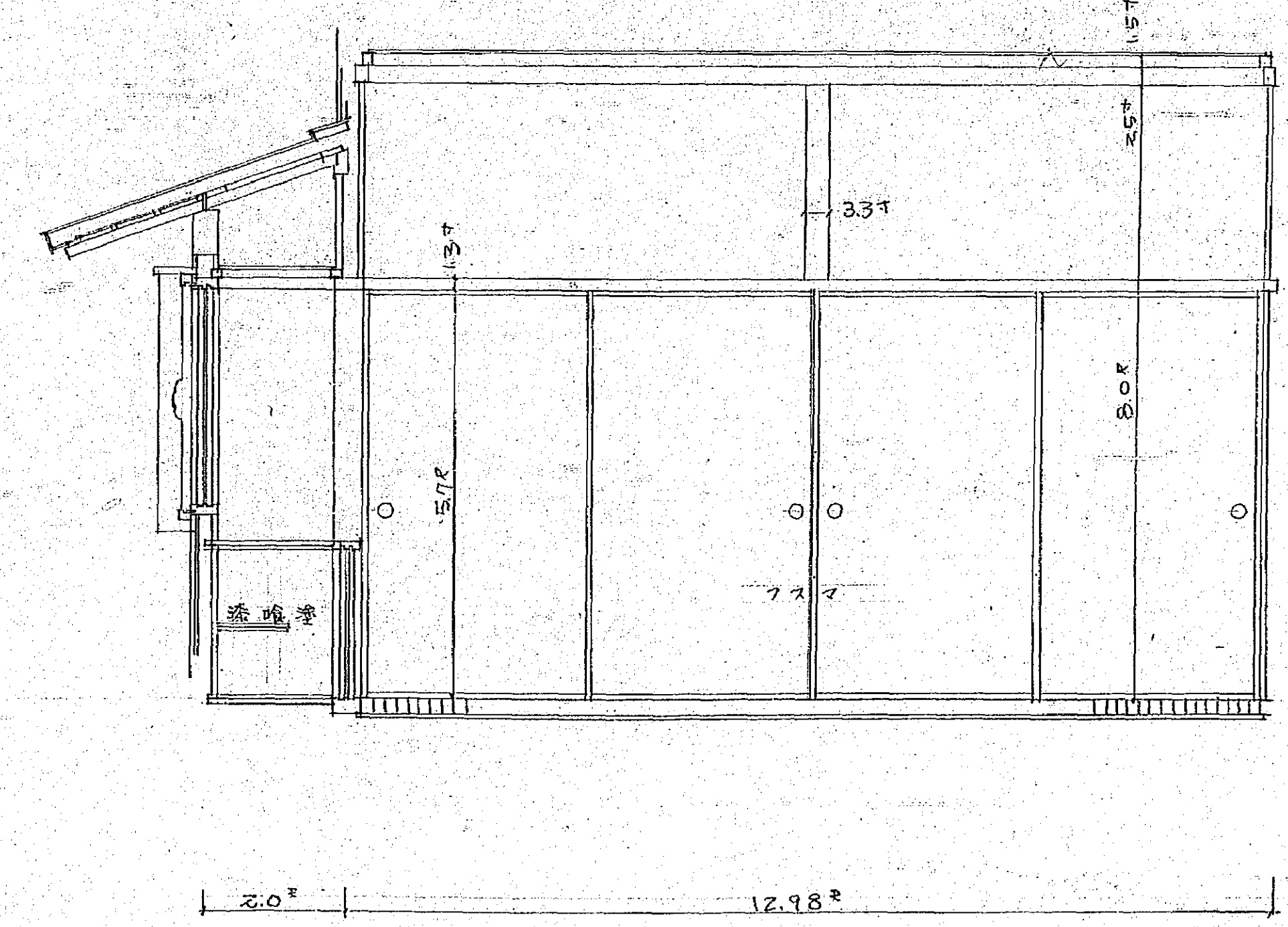


和-4, 上開, 玄関, 窓付 前面

漢紙

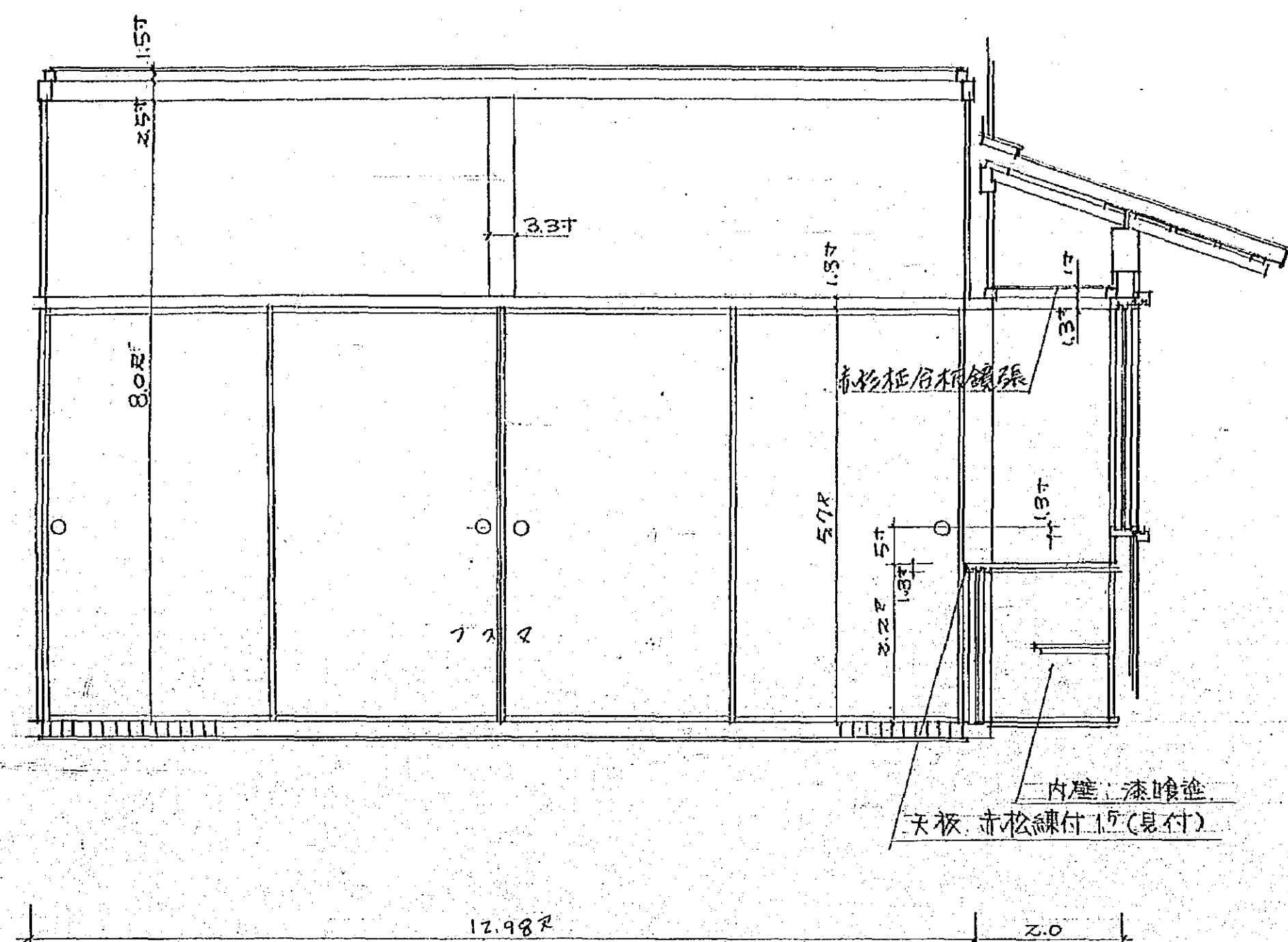


玄関 側面

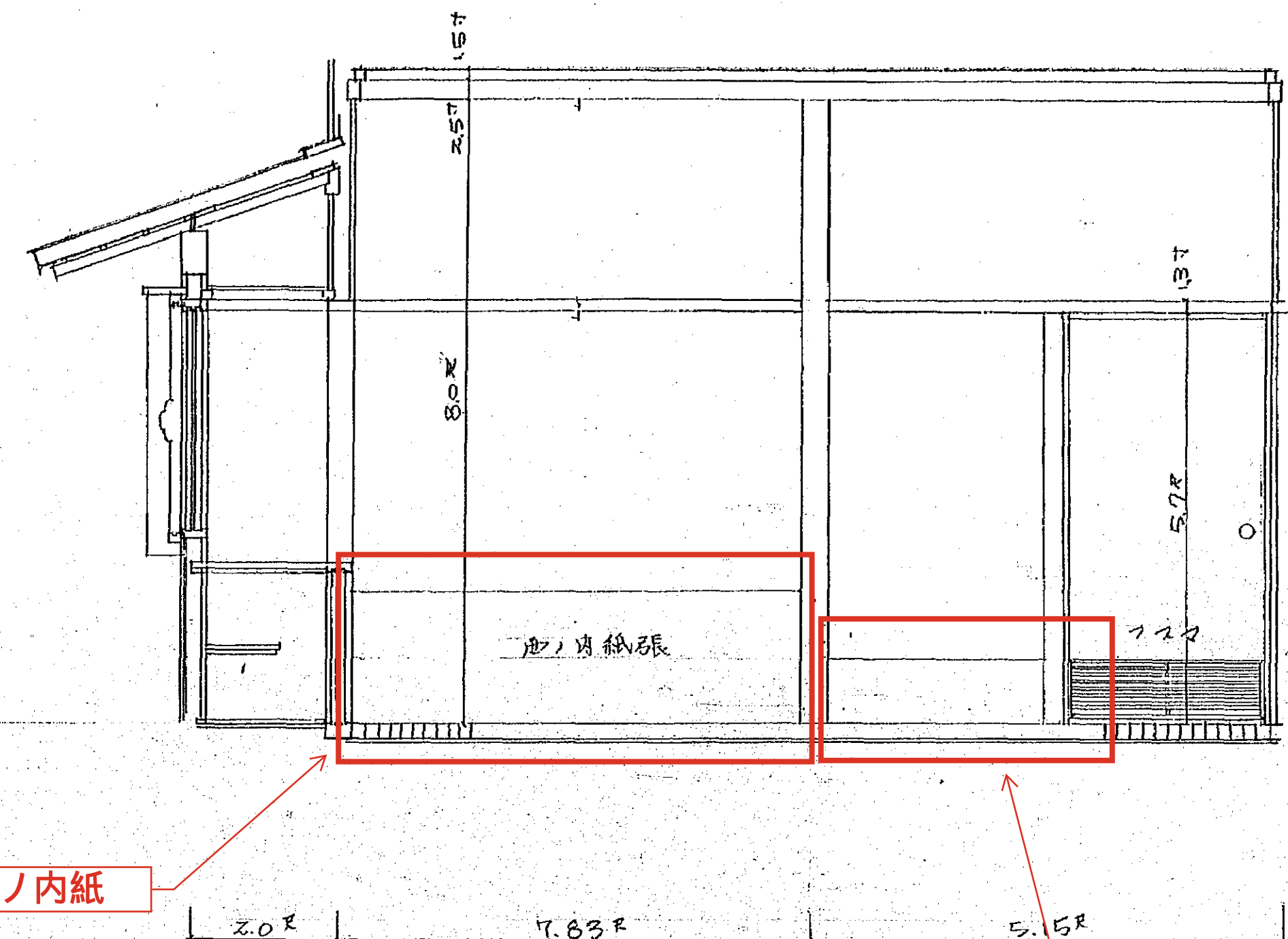


玄関 側面

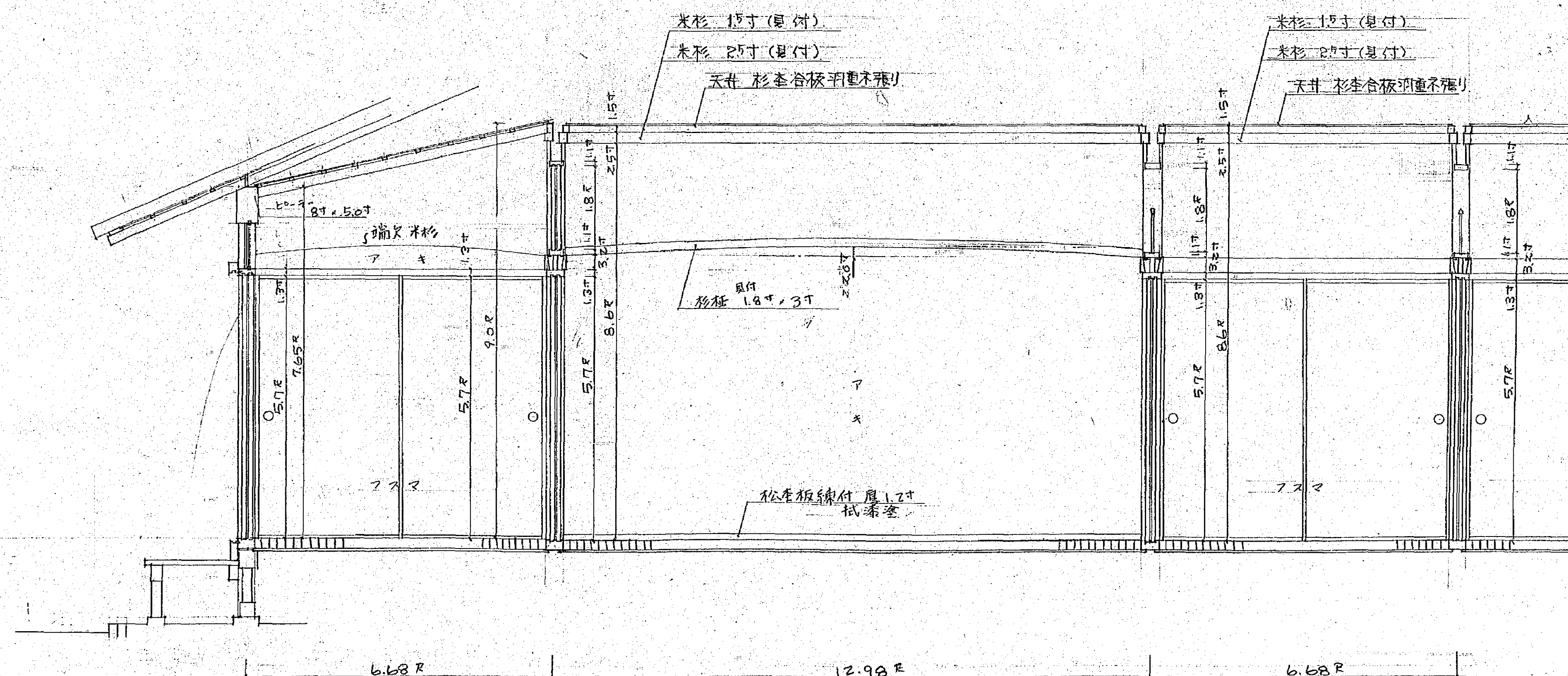
工事名称	工事場所	設計者	事務所名及び所在地	図面名称	縮尺	担当者	係長	補佐	課長	図面番号
福岡県立茶道会館(仮称) 新築工事	福岡市中央区大濠公園内	設計者氏名 一級建築士(京都府)8668号 大▲三郎	事務所名及び所在地 京都府京都市下鴨区木町15番地(財)生産開発科学研究所内 担当 氏 京都府建築業技術協会一級建築士事務所	展開図 茶室会館棟 2	縮尺 1:30 日付	担当	係長	補佐	課長	45



西ノ外観



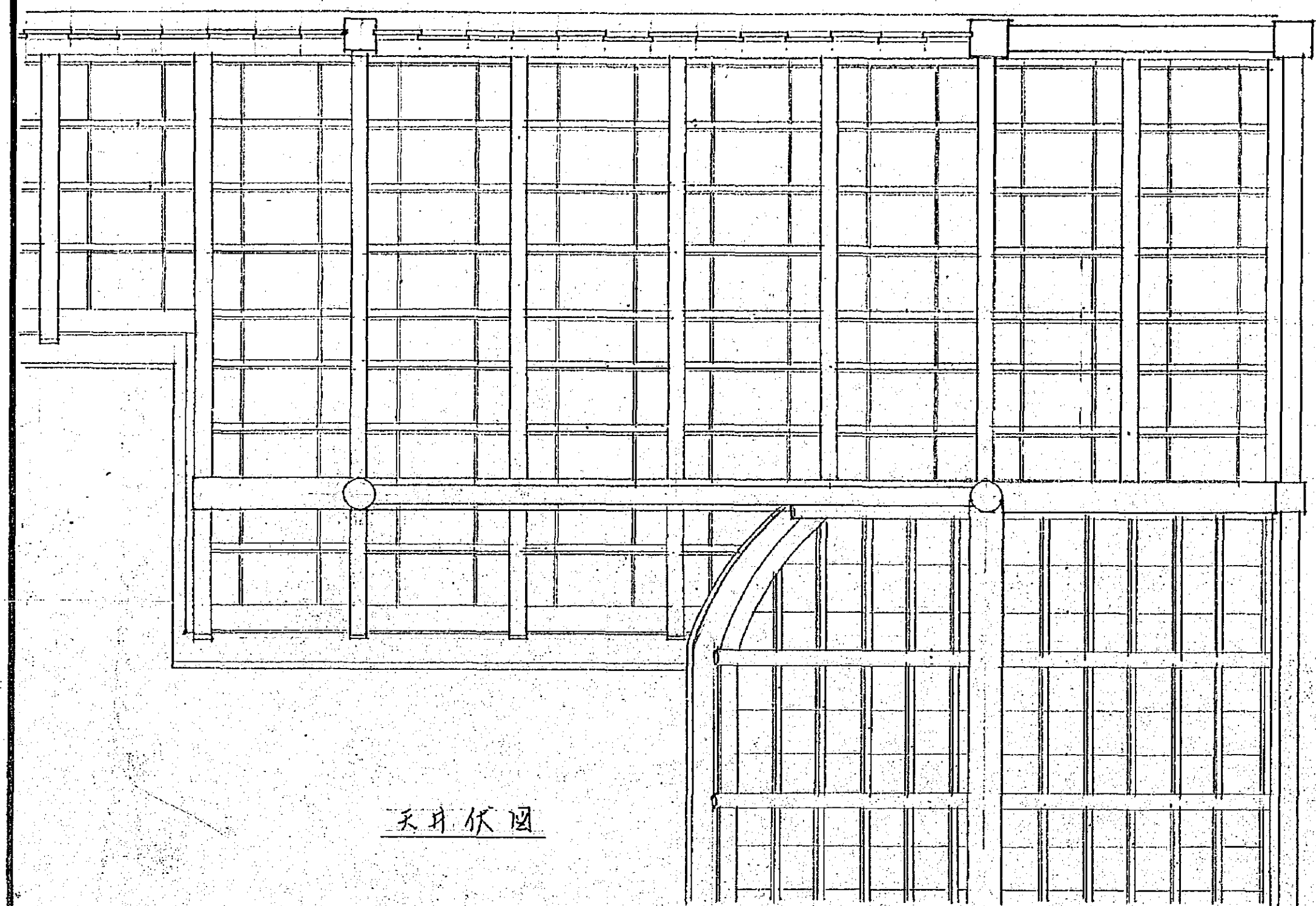
東ノ外観



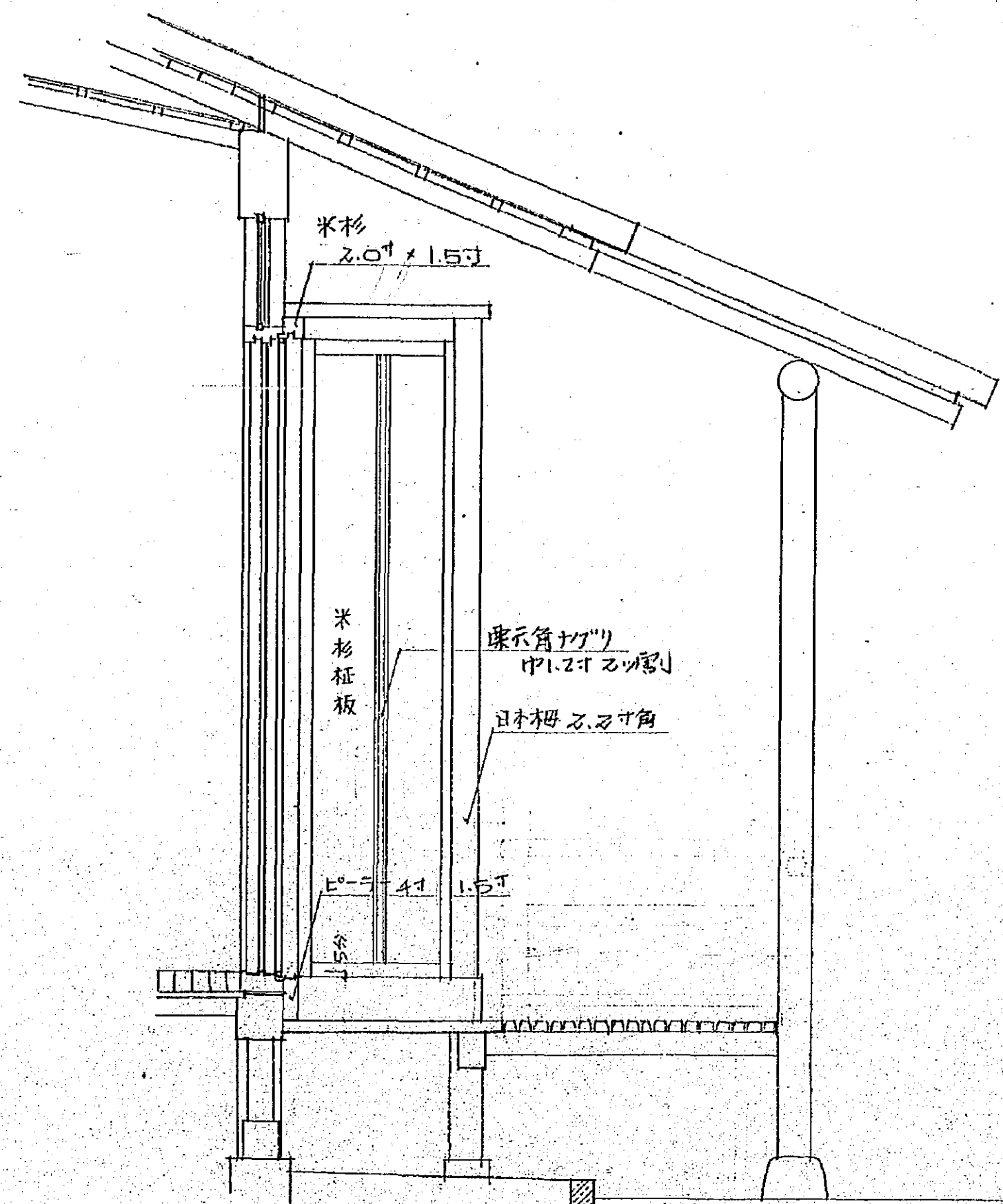
北ノ内観

漢紙

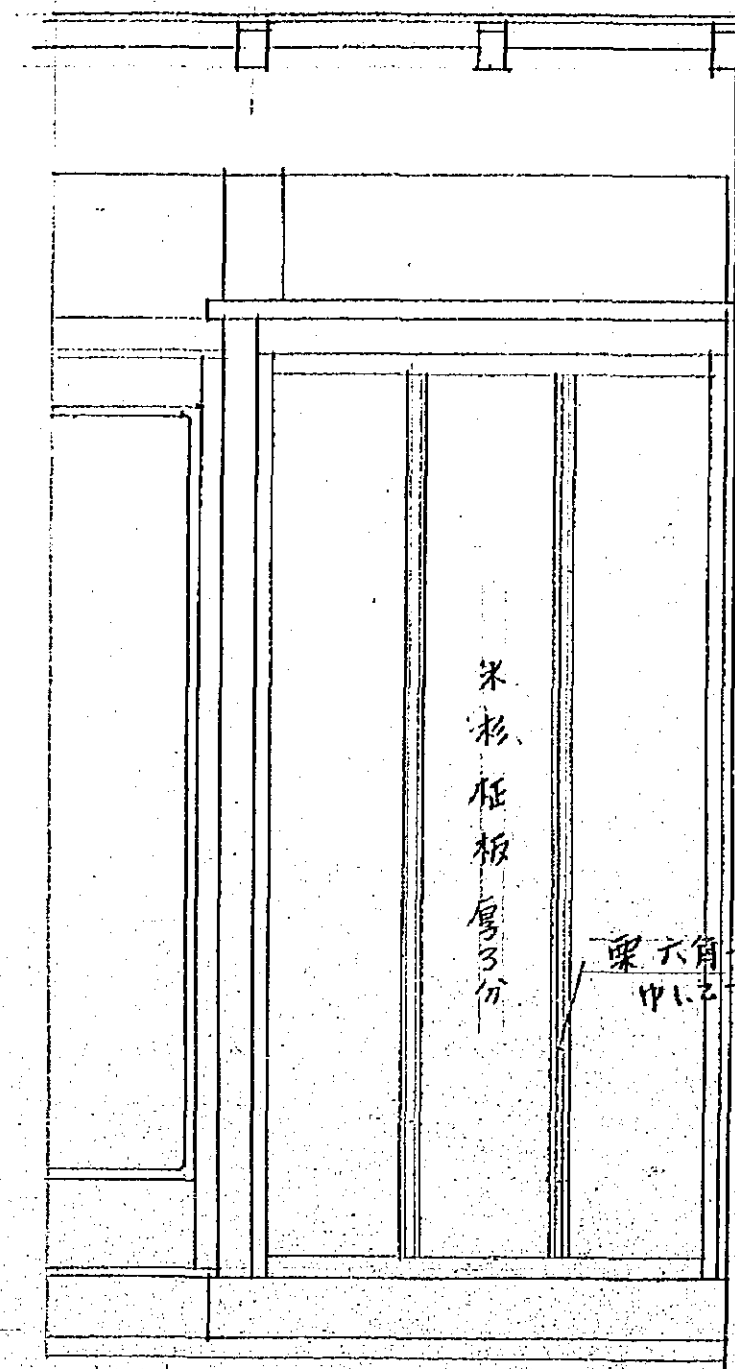
工事名称 福岡県立茶道会館(仮称) 新築工事	工事場所 福岡市中央区大濠公園内	設計者 設計者氏名 一般建築士(京都府)3668号 大倉三郎	事務所名及び所在地 京都市左京区下鴨森本町15番地(旧)生産研究開発研究所内 財団法人 京都伝統建築技術協会 一般建築士事務所	図面名称 展開図 茶室会館棟 3	縮尺 1:30 日付	担当者 係長 補佐 課長	図面番号 46
------------------------------	---------------------	--------------------------------------	---	---------------------	------------------	-----------------------	------------



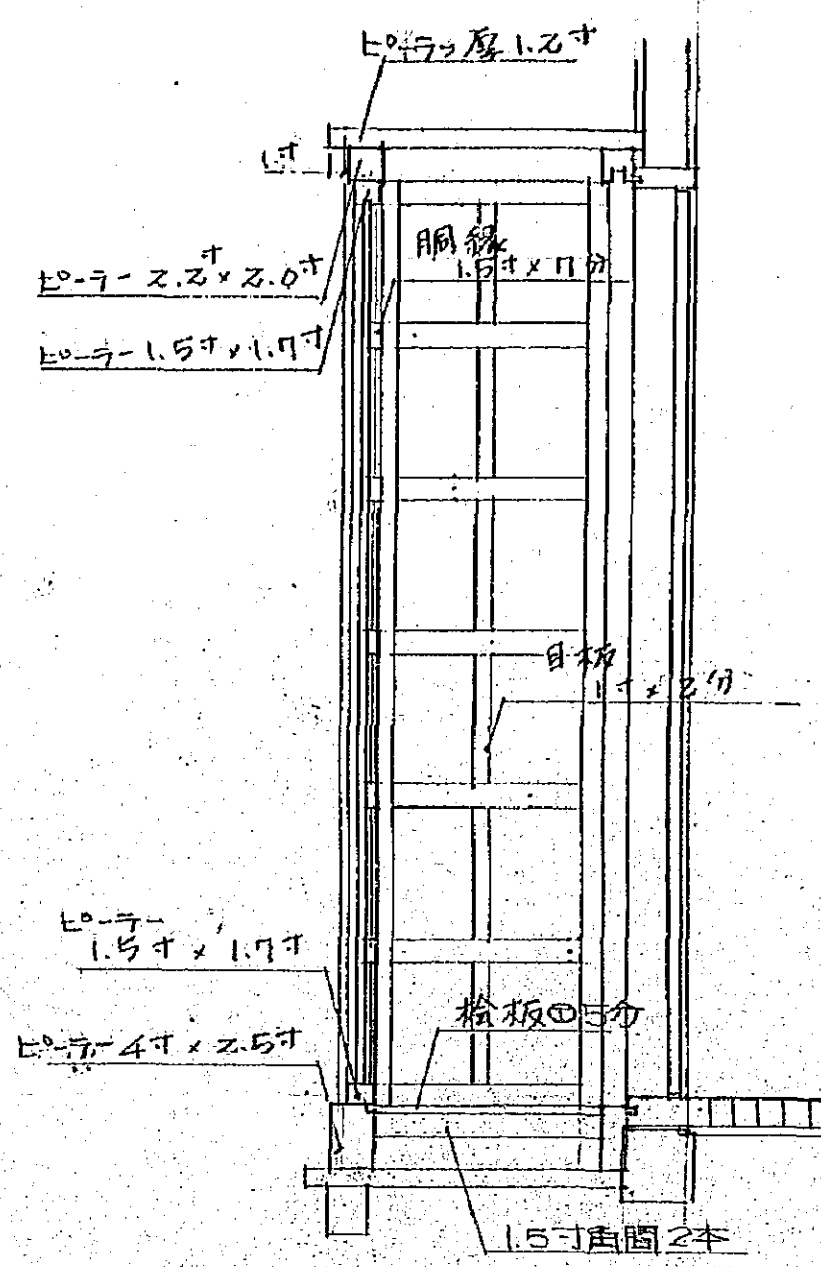
天井伏図



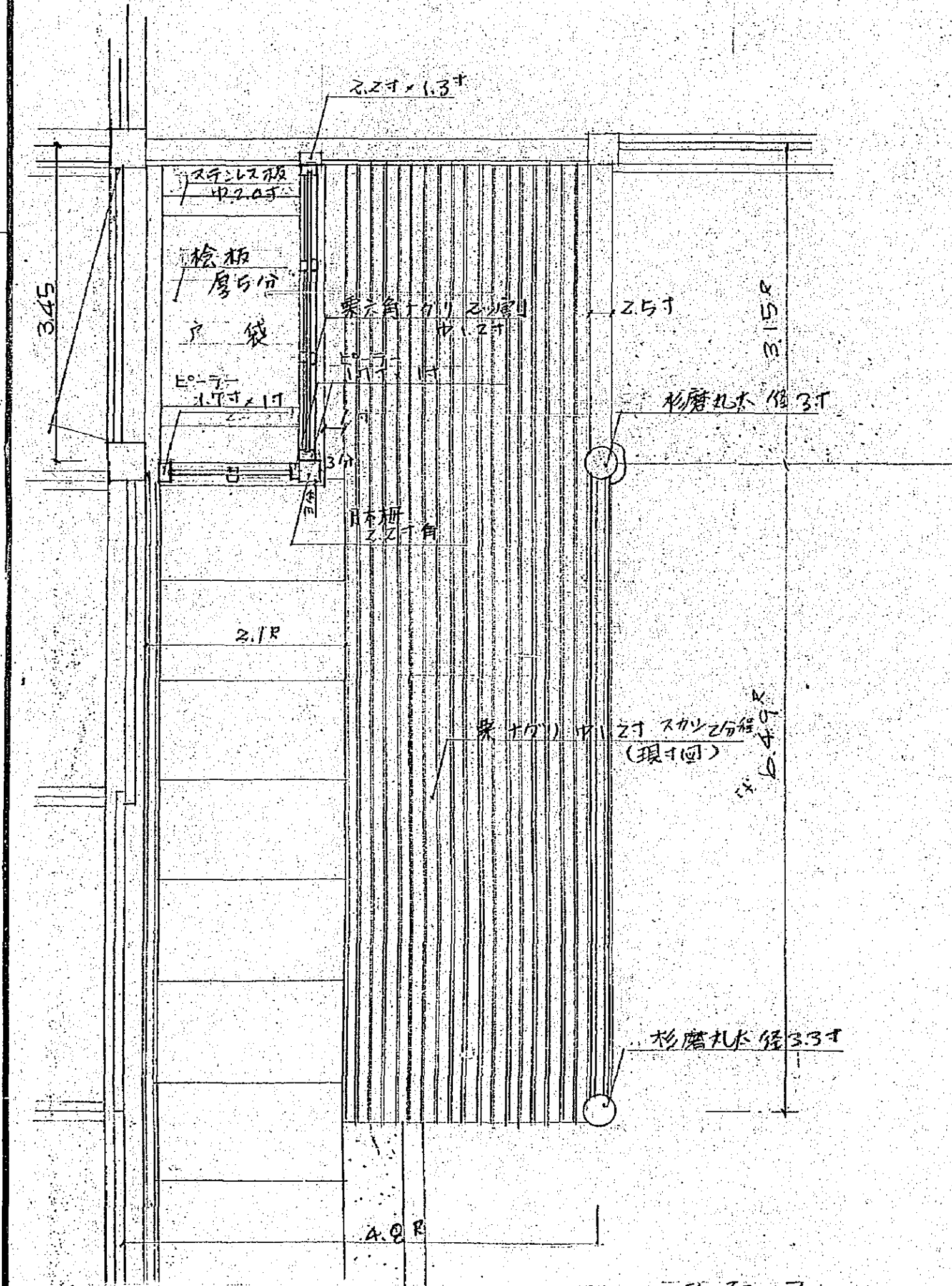
断面図



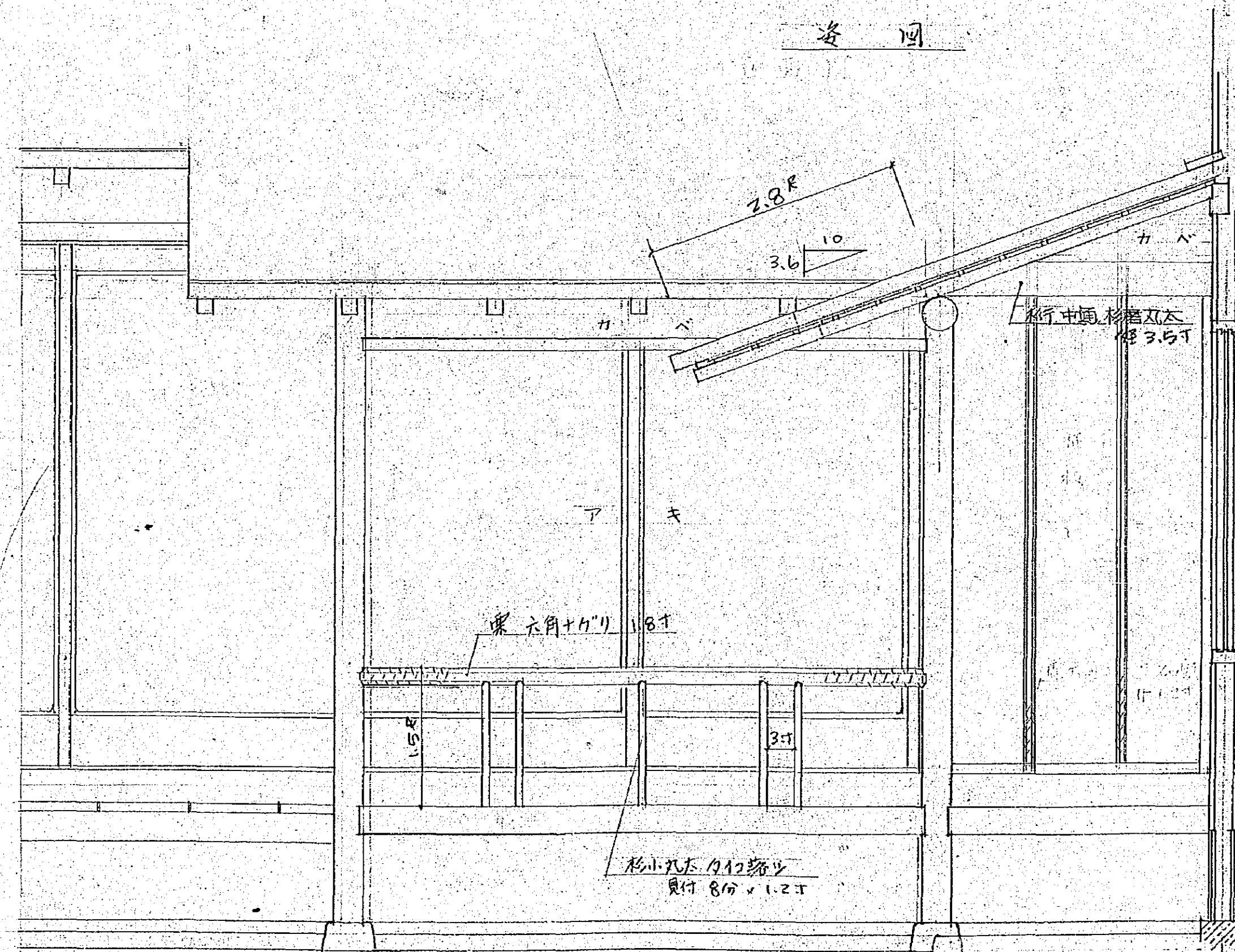
戸袋断面図



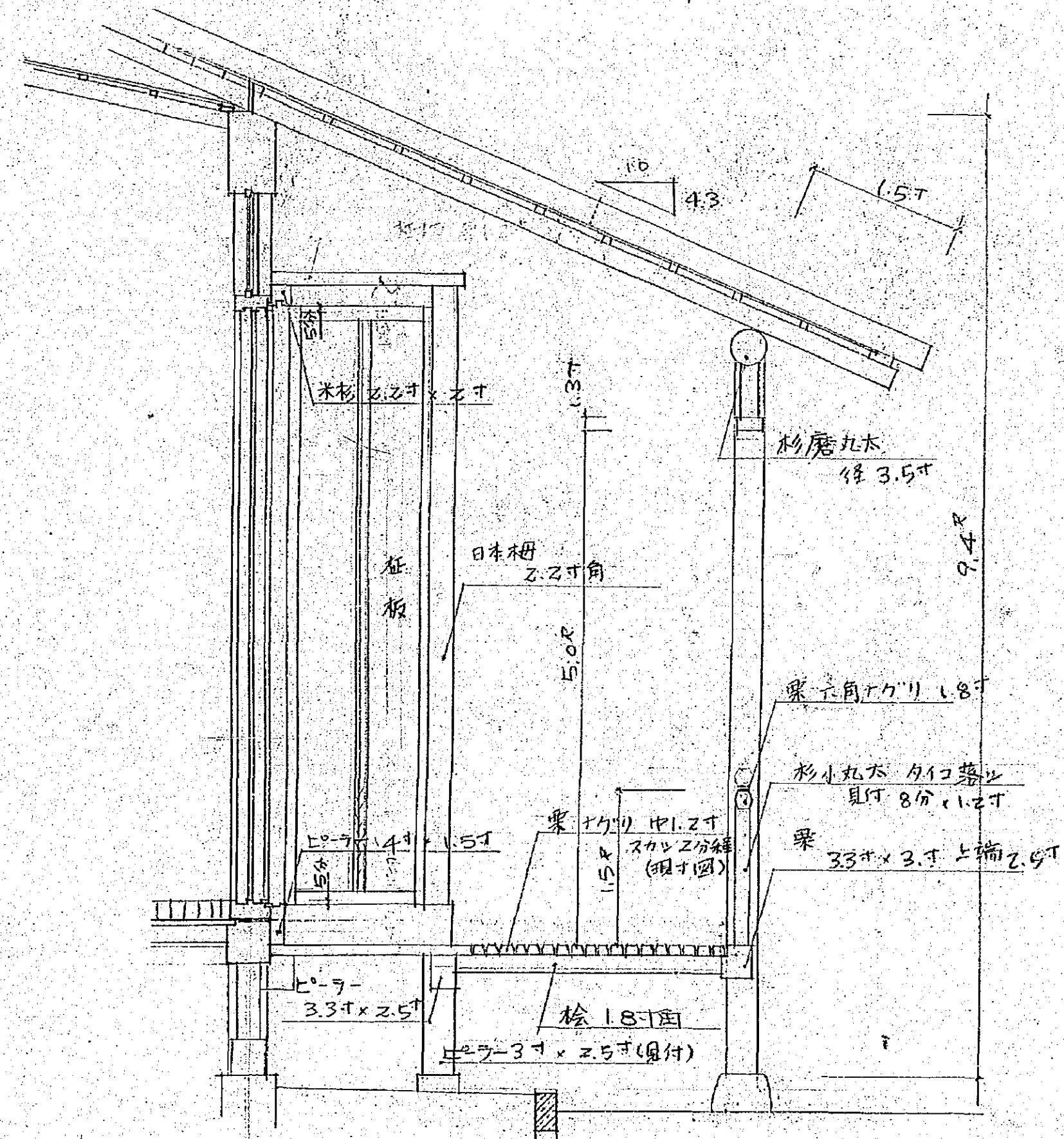
戸袋断面図



平面図



平面図



断面図

工事名称 福岡県立茶道会館(仮称) 新築工事	工事場所 福岡市中央区大濠公園内	設計者 設計者氏名 一般建築士(京都府)B66B号 大倉三郎	事務所名及び所在地 本都府左京区下鴨青木町15番地 (財)京都市立科学館新館内 顧問法人 京都伝統建築技術協会 建築士事務所	図面名称 詳細図 茶室会館棟 1	縮尺 1:20 日付	担当者 係長 楠佐 課長 24	図面番 24
------------------------------	---------------------	--------------------------------------	--	---------------------	------------------	--------------------	-----------